

一般科目		一般教養	1学年	前後期
目的及 留意点		ビジネス能力検定試験 3 級合格を目指し、社会のルールを中心に学校生活やアルバイトにも役立つ知識や作法を学習する。後期には、就活で役に立つビジネスマナーを学習し、また社会で最低限必要となる一般常識も学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		ジョブパス能力検定3級テキスト		
指導内容				
前期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		授業概要、ジョブパス試験について	
2	キャリア形成・コンプライアンス		キャリア形成・コンプライアンスについて	
3	8つの意識①		働くうえでの8つの意識①	
4	8つの意識②		働くうえでの8つの意識②	
5	報告・連絡・相談①		報連相の重要性	
6	報告・連絡・相談②		報連相のポイント	
7	言葉遣い・敬語①		正しい言葉遣い	
8	言葉遣い・敬語②		正しい敬語・クッション言葉	
9	ビジネスマナーとコミュニケーション①		基本的なビジネスマナー	
10	ビジネスマナーとコミュニケーション②		コミュニケーションの重要性・発声	
11	来客応対・訪問		来客対応、訪問時のマナー	
12	ビジネス文書・メール①		ビジネス文書の書き方	
13	ビジネス文書・メール②		ビジネスメールの作成	
14	日本社会と経済①		現代の日本社会	
15	日本社会と経済②		経済について	
16	お礼状の書き方①		お礼状の書き方	
17	お礼状の書き方②		お礼状の書き方 実践	
18	発表練習		他者の前で話すことの練習	
後期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	ライフプランニング①		ライフプランの作成について	
2	ライフプランニング②		ライフプランの作成ワーク	
3	ライフプランニング③		ライフイベントにかかる費用を知る①	
4	ライフプランニング④		ライフイベントにかかる費用を知る②	
5	ライフプランニング⑤		自分のライフプランを振り返る	
6	テーブルマナー		一般的なテーブルマナー	
7	冠婚葬祭のマナー①		慶事のマナー	
8	冠婚葬祭のマナー②		弔事のマナー	
9	日本の年間行事		日本の年間行事について	
10	社会生活の基礎知識①		経営	
11	社会生活の基礎知識②		給与	
12	社会保険と税金①		住民税、所得税	
13	社会保険と税金②		ふるさと納税	
14	社会保険と税金③		健康保険	
15	社会保険と税金④		その他 社会保険	
16	ロジカルシンキング		ロジカルシンキング	
17	ストレスマネジメント		ストレスマネジメント	
18	前後期まとめ		前後期まとめ	

専門科目	生命倫理・動物福祉	1学年	前後期
目的及び留意点	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書4巻		
指導内容			
前期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	生命倫理の概念とさまざまな動物観①	生命倫理の考え方	
2	生命倫理の概念とさまざまな動物観②	生命倫理と獣医療の関わり	
3	生命倫理の概念とさまざまな動物観③	動物に対するさまざまな考え方と影響を与える要因	
4	生命倫理の概念とさまざまな動物観④	動物観の歴史的変遷	
5	動物福祉の概念①	動物福祉とは	
6	動物福祉の概念②	近代の動物愛護運動	
7	動物福祉の概念③	現代の動物愛護運動	
8	動物福祉の概念④	動物の権利と動物福祉	
9	動物福祉の概念⑤	日本における動物愛護と世界における動物福祉	
10	動物福祉の概念⑥	動物病院での安楽死の考え方	
11	動物福祉の評価①	動物福祉の評価とは	
12	動物福祉の評価②	動物福祉の生理学的指標・行動学的指標	
13	動物福祉と社会①	動物福祉と社会・法律	
14	動物福祉と社会②	経済活動と動物福祉	
15	動物福祉と社会③	動物福祉教育	
16	動物福祉と社会④	動物保護活動	
17	愛玩動物の福祉①	愛玩動物の飼育の現状と福祉	
18	愛玩動物の福祉②	家庭での適正飼養と動物福祉上の問題	
後期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	愛玩動物の福祉③	愛玩動物の繁殖・流通・利用に関する福祉上の問題点	
2	愛玩動物の福祉④	飼育放棄と飼い主のいない犬・猫の問題	
3	愛玩動物の福祉⑤	愛玩動物福祉のための対策	
4	産業動物のための福祉①	産業動物福祉改善の歴史と定義	
5	産業動物のための福祉②	産業動物の飼養の概況と動物福祉の課題	
6	産業動物のための福祉③	産業動物における福祉上の主たる問題	
7	産業動物のための福祉④	産業動物に関する国際的福祉基準	
8	産業動物のための福祉⑤	動物福祉向上の方策	
9	実験動物の福祉①	実験動物の福祉と動物実験に関する法規制	
10	実験動物の福祉②	「3Rの原則」・環境エンリッチメント	
11	実験動物の福祉③	獣医学的ケア	
12	実験動物の福祉④	実験動物の苦痛の評価・安楽死を伴わない動物実験	
13	実験動物の福祉⑤	労働安全衛生	
14	展示動物および使役動物の福祉①	展示動物の福祉	
15	展示動物および使役動物の福祉②	使役動物の福祉-身体障害者補助犬（補助犬）を中心に-	
16	野生動物の福祉①	野生動物の福祉	
17	野生動物の福祉②	野生動物の福祉に関する諸問題	
18	対策と課題	対策と課題	

専門科目		動物形態機能学	1学年	前後期
目的及び留意点		動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルでの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書1巻、プリント		
指 導 内 容				
前 期（4時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	犬と猫の体の構造①		構造からみた体、胸腔・腹腔内臓器の位置・名称	
2	犬と猫の体の構造②		細胞内小器官、細胞分裂、物質の輸送方法	
3	皮膚・筋・骨格系①		皮膚の組織構造、皮膚の付属器	
4	皮膚・筋・骨格系②		骨の形態と構造、骨の組成と組織	
5	皮膚・筋・骨格系③		関節の構造と形状、不動性の連結	
6	皮膚・筋・骨格系④		全身骨格名称	
7	皮膚・筋・骨格系⑤		筋系の構造による分類、骨格筋の構造	
8	皮膚・筋・骨格系⑥		全身の筋肉名称	
9	消化器系①		唾液腺・歯・食道・胃の構造	
10	消化器系②		小腸・大腸・肝臓・膵臓の構造	
11	呼吸器系①		上気道の構造、下気道・肺の構造	
12	呼吸器系②		気道と肺胞、内呼吸と外呼吸、ガス交換・運搬	
13	循環器系①		心臓の解剖学的構造、体循環・肺循環	
14	循環器系②		心臓の血管と神経・興奮と伝達、心電図、心臓の収縮	
15	循環器系③		動脈・静脈・毛細血管、リンパ管の構造、胸腺・脾臓について	
16	前期のまとめ		前期内容の確認	
17	試験範囲説明		定期試験範囲の説明	
18	前期定期試験		前期定期試験	
後 期（4時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	泌尿器系①		腎臓の構造、糸球体・尿細管の構造	
2	泌尿器系②		傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質	
3	泌尿器系③		排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿	
4	生殖器系①		雄の生殖器・副生殖腺の構造	
5	生殖器系②		雌の生殖器の構造	
6	内分泌系①		ホルモンの特徴、視床下部・下垂体の構造・ホルモン	
7	内分泌系②		甲状腺の構造・ホルモン、上皮小体の構造とホルモン	
8	内分泌系③		膵臓（ランゲルハンス島）・副腎・腎臓の構造とホルモン	
9	神経系①		神経細胞と支持細胞、神経系の構造	
10	神経系②		脊髄・脳幹の構造、小脳・間脳・大脳の構造	
11	神経系③		髄膜・脳脊髄液・血液脳関門	
12	神経系④		脊髄神経と脳神経、体性神経と自律神経の構造	
13	感覚器系①		眼球の構造と付属器、視覚	
14	感覚器系②		耳の構造、聴覚と平衡感覚	
15	感覚器系③		味覚器と味覚、嗅覚器と嗅覚	
16	後期のまとめ		後期内容の確認	
17	試験範囲説明		定期試験範囲の説明	
18	後期定期試験		後期定期試験	

専門科目	動物栄養学	1学年	後期
目 的 及 び 留 意 点	5 大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	犬と猫の栄養学 第2版		
指 導 内 容			
後 期 （1時限）			
週	教程	教程内容	
1	犬と猫の基礎栄養学 序章	栄養とは何か	
2	栄養素とエネルギー	エネルギーの分類、エネルギーバランス	
3	犬と猫のエネルギー要求量①	RER, DERの算出方法	
4	犬と猫のエネルギー要求量②	係数の付け方とDERの考え方	
5	犬と猫のエネルギー要求量③	給与量の算出方法	
6	水	水のはたらき	
7	犬と猫の水分要求量	水分要求量の計算方法と具体例	
8	まとめ	練習問題	
9	炭水化物とは	糖質と繊維質の性質と特性	
10	たんぱく質とは	タンパク質の性質と特性	
11	脂質とは	脂質の性質と特性	
12	ビタミン	ビタミンの性質と特性	
13	ミネラル	ミネラルの性質と特性	
14	まとめ	練習問題	
15	消化と吸収	消化、吸収のしくみ、消化酵素	
16	犬と猫の食性と嗜好性	犬と猫の栄養特性、食べていいもの悪いもの	
17	まとめ	練習問題	
18	試験説明	まとめテストの確認	

専門科目	動物看護関連法規	1学年	前期
目的及 留意点	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	プリント		
指 導 内 容			
前 期 （1時限）			
週	教程	教程内容	
1	法学総論	法学総論概要説明	
2	獣医療関連行政法規①	獣医師法①	
3	獣医療関連行政法規②	獣医師法②	
4	獣医療関連行政法規③	獣医療法①	
5	獣医療関連行政法規④	獣医療法②	
6	愛玩動物看護師法	法律の概要、重要な条項	
7	公衆衛生行政法規①	感染症法①	
8	公衆衛生行政法規②	感染症法②	
9	公衆衛生行政法規③	狂犬病予防法①	
10	公衆衛生行政法規④	狂犬病予防法②	
11	薬事行政法規①	医薬品医療機器等法①	
12	薬事行政法規②	医薬品医療機器等法②	
13	薬事行政法規③	麻薬及び向精神薬取締法	
14	薬事行政法規④	毒物及び劇物取締法	
15	薬事行政法規⑤	労働基準法	
16	薬事行政法規⑥	製造物責任法	
17	薬事行政法規⑦	個人情報保護法	
18	まとめ	まとめ	

専門科目	動物看護学概論	1学年	前期
目的及 留意点	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書4巻、プリント		
指導内容			
前期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	獣医療の歴史と概念	獣医療の歴史	
2	動物看護の基本となる概念①	動物看護の歴史と概念	
3	動物看護の基本となる概念②	動物にとっての福祉・健康・QOL	
4	動物看護の基本となる概念③	獣医療倫理	
5	動物看護の基本となる概念④	愛玩動物看護師の倫理綱領	
6	動物看護の基本となる概念⑤	愛玩動物看護師の倫理綱領	
7	動物看護の提供体制①	社会における動物病院の役割	
8	動物看護の提供体制②	一次診療と二次診療、緊急獣医療の役割と連携	
9	動物看護の提供体制③	インフォームドコンセント	
10	動物看護の提供体制④	セカンドオピニオン、守秘義務	
11	動物看護の提供体制⑤	バイオエシックス、パターナリズム	
12	動物看護の提供体制⑥	診療記録と動物看護記録の作成、保存義務について	
13	動物看護の提供体制⑦	職場における労働安全衛生、危険の防止や対処法	
14	愛玩動物看護師の社会的立場①	愛玩動物看護師の職能団体、代表的な組織や団体	
15	愛玩動物看護師の社会的立場②	愛玩動物看護師の資格制度と職務範囲、資格認定機構	
16	愛玩動物看護師の社会的立場③	国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて	
17	愛玩動物看護師の社会的立場④	国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて	
18	まとめ	定期試験対策	

専門科目	動物病理学	1学年	後期
目 的 及 び 留 意 点	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書2巻		
指 導 内 容			
後 期 （2時限）			
週	教 程	教 程 内 容	
1	動物病理学の基礎①	病理学とは、病理検査技術（病理検査の実施手順・標本作成方法）	
2	動物病理学の基礎②	病気の原因（内因と外因）	
3	傷害と細胞死①	代謝障害と変性	
4	傷害と細胞死②	代謝障害と変性	
5	傷害と細胞死③	萎縮と低形成、壊死（ネクロシス）・アポトーシス	
6	細胞や組織の修復と再生①	細胞の増殖のメカニズム、過形成と肥大	
7	細胞や組織の修復と再生②	化生、再生	
8	細胞や組織の修復と再生③	器質化	
9	循環障害①	血液の循環障害とリンパ管循環（水腫/浮腫・うっ血/充血/虚血）	
10	循環障害②	血液の循環障害とリンパ管循環（出血/血液凝固/止血）	
11	循環障害③	血液の循環障害とリンパ管循環（血栓/塞栓/梗塞・DIC・ショック・脱水）	
12	炎症①	炎症の定義（5大主徴）、原因	
13	炎症	炎症による形態的変化、炎症の分類、免疫異常	
14	腫瘍①	腫瘍の定義、形態学的特徴、分類と命名	
15	腫瘍②	腫瘍の増殖、宿主への影響、腫瘍免疫	
16	腫瘍③	腫瘍の原因、メカニズム、種類	
17	腫瘍④	腫瘍の種類	
18	先天異常	先天異常とは、原因（遺伝的・環境的）、奇形	

専門科目		動物感染症学	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、衛生管理、予防などの感染症対策の基礎について理解する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	微生物の分類と特徴①		細菌の分類、形態、増殖方法および病原性	
2	微生物の分類と特徴②		細菌によって引き起こされる主な病気（概要）	
3	微生物の分類と特徴③		ウイルスの分類、形態、増殖方法および病原性	
4	微生物の分類と特徴④		ウイルスによって引き起こされる主な病気（概要）①	
5	微生物の分類と特徴⑤		ウイルスによって引き起こされる主な病気（概要）②	
6	微生物の分類と特徴⑥		真菌の分類、形態、増殖方法および病原性	
7	微生物の分類と特徴⑦		真菌によって引き起こされる主な病気（概要）	
8	微生物の分類と特徴⑧		病原体の感染経路と伝播様式、感染成立の要因	
9	動物感染症①		消毒法と滅菌法①	
10	動物感染症②		消毒法と滅菌法②	
11	寄生虫の分類と特徴①		原虫類の分類、形態、生活環および病原性	
12	寄生虫の分類と特徴②		吸虫類の分類、形態、生活環および病原性	
13	寄生虫の分類と特徴③		線虫類の分類、形態、生活環および病原性	
14	寄生虫の分類と特徴④		条虫類の分類、形態生活環および病原性	
15	寄生虫の分類と特徴⑤		ノミ類とダニ類の分類、形態、生活環および病原性	
16	寄生虫の分類と特徴⑥		寄生虫疾患の検査、診断方法	
17	寄生虫の分類と特徴⑦		駆虫薬や駆除剤の使用法①	
18	寄生虫の分類と特徴⑧		駆虫薬や駆除剤の使用法②	
後 期（2時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	主な感染症①		症状、治療法、予防法①	
2	主な感染症②		症状、治療法、予防法②	
3	主な感染症③		症状、治療法、予防法③	
4	主な感染症④		症状、治療法、予防法④	
5	主な感染症⑤		症状、治療法、予防法⑤	
6	主な感染症⑥		症状、治療法、予防法⑥	
7	主な感染症⑦		症状、治療法、予防法⑦	
8	主な感染症⑧		症状、治療法、予防法⑧	
9	主な感染症⑨		症状、治療法、予防法⑨	
10	主な感染症⑩		症状、治療法、予防法⑩	
11	主な感染症⑪		症状、治療法、予防法⑪	
12	主な感染症⑫		症状、治療法、予防法⑫	
13	主な感染症⑬		症状、治療法、予防法⑬	
14	寄生虫学①		フィラリア検査	
15	寄生虫学②		原虫類の顕微鏡による観察	
16	寄生虫学③		内部寄生虫の顕微鏡による観察	
17	寄生虫学④		外部寄生虫の顕微鏡による観察	
18	寄生虫学⑤		アニサキス	

専門科目	公衆衛生学	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や 疾病予防への応用について理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	プリント		
指 導 内 容			
前 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	公衆衛生の概要①	公衆衛生の定義・目的	
2	公衆衛生の概要②	公衆衛生行政	
3	公衆衛生の概要③	感染の形態	
4	公衆衛生の概要④	感染経路	
5	公衆衛生の概要⑤	感染の3要素	
6	公衆衛生の概要⑥	微生物学の歴史	
7	公衆衛生の概要⑦	細菌の形態と構造	
8	公衆衛生の概要⑧	細菌の観察	
9	公衆衛生の概要⑨	細菌の増殖	
10	公衆衛生の概要⑩	特殊な細菌	
11	疫学と疾病予防①	感染の成立	
12	疫学と疾病予防②	疫学調査法	
13	疫学と疾病予防③	予防疫学	
14	疫学と疾病予防④	人と動物の共通感染症	
15	疫学と疾病予防⑤	狂犬病予防法	
16	疫学と疾病予防⑥	原虫	
17	疫学と疾病予防⑦	ワクチン、免疫の仕組み	
18	前期まとめ	前期まとめ	
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	環境衛生①	環境衛生の歴史、背景	
2	環境衛生②	洗浄と滅菌	
3	環境衛生③	手洗いの基本	
4	環境衛生④	消毒法総論	
5	環境衛生⑤	消毒薬の希釈法	
6	環境衛生⑥	消毒薬の濃度計算	
7	環境衛生⑦	低・中・高水準消毒薬	
8	環境衛生⑧	化学物質	
9	環境衛生⑨	放射線による汚染と障害	
10	環境衛生⑩	衛生動物による人や動物への被害と対策	
11	環境衛生⑪	動物の咬傷による人への健康障害	
12	環境衛生⑫	廃棄物の取り扱い	
13	環境衛生⑬	国内の防疫対策と法律	
14	食品衛生①	食品衛生の定義	
15	食品衛生②	食品衛生と食中毒	
16	食品衛生③	動物性食品の衛生	
17	食品衛生④	食品衛生管理法	
18	後期まとめ	後期まとめ	

専門科目		動物内科看護学	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、初見の記録等について理解する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		動物を看護するにあたり	
2	診療補助に必要な技術		診療時における愛玩動物看護師の役割	
3	動物の健康保持・増進①		入院動物の日常管理	
4	動物の健康保持・増進②		動物種による管理上の注意点	
5	動物の健康保持・増進③		排泄の管理	
6	動物の健康保持・増進④		ワクチネーション	
7	動物の健康保持・増進⑤		外部寄生虫の確認	
8	動物の健康保持・増進⑥		老齢動物の入院看護	
9	動物の健康保持・増進⑦		幼若動物の入院看護	
10	動物の健康保持・増進⑧		身体検査①	
11	動物の健康保持・増進⑨		身体検査②	
12	動物の健康保持・増進⑩		身体検査、アセスメント	
13	対動物関係の技術①		動物へのアプローチ	
14	対動物関係の技術②		安全な散歩および運動技術	
15	対動物関係の技術③		ハンドリングと保定法	
16	診療補助に必要な技術①		動物の処置や検査、状態にあわせた保定法①	
17	診療補助に必要な技術②		動物の処置や検査、状態にあわせた保定法②	
18	まとめ		試験対策	
後 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	復習		前期試験の解説と復習	
2	衛生・安全管理と環境①		標準予防の実際	
3	衛生・安全管理と環境②		検疫と感染	
4	衛生・安全管理と環境③		感染コントロール	
5	衛生・安全管理と環境④		安全管理対策	
6	衛生・安全管理と環境⑤		動物飼養管理中の事故防止	
7	衛生・安全管理と環境⑥		動物に応じた環境整備	
8	衛生・安全管理と環境⑦		動物に応じた入院管理	
9	検査・処置に必要な技術①		注射器の取り扱いおよび管理方法	
10	検査・処置に必要な技術②		採血の目的	
11	検査・処置に必要な技術③		確認テスト	
12	検査・処置に必要な技術④		各カテーテルについて理解する	
13	検査・処置に必要な技術⑤		カテーテルの挿入・留置および管理（静脈内カテーテル）	
14	検査・処置に必要な技術⑥		カテーテルの挿入・留置および管理（経鼻カテーテル）	
15	検査・処置に必要な技術⑦		カテーテルの挿入・留置および管理（尿道カテーテル）	
16	検査・処置に必要な技術⑧		カテーテルの挿入・留置および管理（胃カテーテル）	
17	検査・処置に必要な技術⑨		確認テスト	
18	まとめ		試験対策	

専門科目		動物外科看護学	1学年	前後期
目的 及 び 留 意 点		外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	術前準備①		術前手続き（飼い主への説明、承諾など）や術前検査	
2	術前準備②		無菌的処置の重要性	
3	術前準備③		手術衣、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法	
4	術前準備④		手術器具の準備と滅菌法	
5	術前準備⑤		手術室の機器類（无影灯、電気メス本体など）	
6	術前準備⑥		機械台の準備	
7	術前準備⑦		動物の適切なポジショニング	
8	術前準備⑧		術野の消毒	
9	術前準備⑨		手洗い、手術着・手袋の着用法①	
10	術前準備⑩		手洗い、手術着・手袋の着用法②	
11	術前準備⑪		手洗い、手術着・手袋の着用法③	
12	術前準備⑫		代表的な手術器具（メス、鉗子など）の名称と使用法①	
13	術前準備⑬		代表的な手術器具（メス、鉗子など）の名称と使用法②	
14	術前準備⑭		代表的な手術器具（メス、鉗子など）の名称と使用法③	
15	術前準備⑮		代表的な縫合材（縫合針・縫合糸）の分類と使用法①	
16	術前準備⑯		代表的な縫合材（縫合針・縫合糸）の分類と使用法②	
17	術前準備⑰		代表的な歯科器具の名称と使用法①	
18	術前準備⑱		代表的な歯科器具の名称と使用法②	
後 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	麻酔①		麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割①	
2	麻酔②		麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割②	
3	麻酔③		麻酔リスクの評価（ASA分類など）①	
4	麻酔④		麻酔リスクの評価（ASA分類など）②	
5	麻酔⑤		麻酔前投与（鎮静など）①	
6	麻酔⑥		麻酔前投与（鎮静など）②	
7	麻酔⑦		注射麻酔（局所麻酔を含む）の手技	
8	麻酔⑧		吸入麻酔の手技	
9	麻酔⑨		導入時、覚醒時のリスクと対処法①	
10	麻酔⑩		導入時、覚醒時のリスクと対処法②	
11	麻酔⑪		麻酔器①	
12	麻酔⑫		麻酔器②	
13	麻酔⑬		麻酔器③	
14	麻酔⑭		麻酔監視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、呼吸終末二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義①	
15	麻酔⑮		麻酔監視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、呼吸終末二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義②	
16	麻酔⑯		麻酔監視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、呼吸終末二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義③	
17	麻酔⑰		麻酔監視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、呼吸終末二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義④	
18	麻酔⑱		麻酔記録の作成法	

専門科目	動物臨床検査学	1学年	前後期
目的及び留意点	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指導内容			
前期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	臨床検査の基礎①	臨床検査における愛玩動物看護師の役割	
2	臨床検査の基礎②	臨床検査の種類	
3	臨床検査の基礎③	主な検査機器	
4	基準値の考え方①	基準値、感度、特異度、精度管理①	
5	基準値の考え方②	基準値、感度、特異度、精度管理②	
6	検体採取法	各検体の採取法・保存方法	
7	臨床検査の基礎	まとめ	
8	糞便検査①	糞便検査の目的	
9	糞便検査②	糞便検査の概論	
10	糞便検査③	採便方法とその取扱い・検査項目について	
11	糞便検査④	手技・評価方法について	
12	糞便検査⑤	集卵法について	
13	糞便検査⑥	虫卵・原虫について	
14	尿検査①	尿検査の概論	
15	尿検査②	物理学的検査	
16	尿検査③	化学的性状検査	
17	尿検査④	手技・評価方法について	
18	尿検査⑤	尿検査について	
後期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	血液検査①	血液検査の概論	
2	血液検査②	採血方法・取扱いについて	
3	血液検査③	CBCの検査項目について①	
4	血液検査④	CBCの検査項目について②	
5	血液検査⑤	血液塗抹検査について①	
6	血液検査⑥	血液塗抹検査について②	
7	血液検査⑦	血液凝固系検査について①	
8	血液検査⑧	血液凝固系検査について②	
9	血液検査⑨	血液ガス検査について	
10	血液検査⑩	生化学検査項目について①	
11	血液検査⑪	生化学検査項目について②	
12	血液検査⑫	生化学検査項目について③	
13	細胞診と病理組織検査①	細胞診断の目的と方法	
14	細胞診と病理組織検査②	病理組織検査の検体の取り扱いについて	
15	遺伝子検査①	遺伝子検査の目的	
16	遺伝子検査②	遺伝子検査の検体採取と取り扱いについて	
17	遺伝子検査③	遺伝子検査の応用例	
18	まとめ	まとめ	

専門科目	コミュニケーショントレーニング	1学年	前後期
目的及 留意点	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主対応やスタッフ間での接し方を学ぶ。また対人関係スキルの向上を目指す。		
評価方法	発表・筆記試験		
テキスト	プリント		
指導内容			
前期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	オリエンテーション	コミュニケーションの重要性、自己紹介	
2	非言語コミュニケーション	見た目の重要性、表情、目線、パーソナルスペース	
3	聞くスキル①	傾聴の姿勢、うなづき、あいづち	
4	聞くスキル②	質問の仕方、インタビュー実践	
5	話すスキル	腹式呼吸、滑舌、抑揚、強調、発声トレーニング	
6	伝えるスキル①	相手にわかりやすく伝える方法	
7	伝えるスキル②	PREP法、ホールパート法	
8	丁寧な印象を身につける①	丁寧な所作、言葉遣い	
9	丁寧な印象を身につける②	敬語	
10	丁寧な印象を身につける③	確認テスト	
11	異文化コミュニケーション①	自己と他者、「普通」について考える	
12	異文化コミュニケーション②	「障がい」について学ぶ	
13	異文化コミュニケーション③、課題発表	「ジェンダー」について学ぶ、発表	
14	伝えるスキル③	PREP法	
15	伝えるスキル④	ホールパート法	
16	伝えるスキル⑤	「自分の好きなもの」発表①	
17	伝えるスキル⑥	「自分の好きなもの」発表②	
18	伝えるスキル⑦	「自分の好きなもの」発表③	
後期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	コミュニケーション概論①	自己紹介と価値観	
2	コミュニケーション概論②	感情と価値観	
3	コミュニケーション概論③	思いこみとコミュニケーションの関係	
4	コミュニケーション概論④	コミュニケーションとは何か？	
5	コミュニケーション概論⑤	コミュニケーションの必要性	
6	人間の心理を知る①	性差による違い	
7	人間の心理を知る②	脳の仕組みと機能	
8	人間の心理を知る③	自分の行動パターンを知る	
9	人間の心理を知る④	相手の行動パターンを知る	
10	ホスピタリティについて①	礼儀（マナー）の重要性	
11	ホスピタリティについて②	言葉と身だしなみ	
12	ホスピタリティについて③	年代別の対応について	
13	コミュニケーションの方法を探る①	書くことについて	
14	コミュニケーションの方法を探る②	話すことについて	
15	コミュニケーションの方法を探る③	聴くことについて	
16	コミュニケーションの方法を探る④	非言語コミュニケーションについて	
17	社会人としての在り方を考える①	協働するスキルを学ぶ①	
18	社会人としての在り方を考える②	協働するスキルを学ぶ②	

専門科目	動物美容学(器具演習)	1学年	前後期
目的及 留意点	グルーミングの基本、各犬種のトリミングに必要な技法を細部にわたって学ぶ。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	最新犬種図鑑、プリント		
指 導 内 容			
前 期 (1時限)			
週	教程	教程内容	
1	動物美容実習概要説明①	動物美容実習概要説明	
2	動物美容実習概要説明②	サロントリマー 2 級概要説明	
3	器具演習、犬種学①	器具演習、犬種学1・2G	
4	器具演習、犬種学②	器具演習、犬種学3・4G	
5	器具演習、犬種学③	器具演習、犬種学5G	
6	器具演習、犬種学④	器具演習、犬種学6・7G	
7	器具演習、犬種学⑤	器具演習、犬種学8G	
8	器具演習、犬種学⑥	器具演習、犬種学9G	
9	器具演習、犬種学⑦	器具演習、犬種学10G	
10	器具演習、保定学①	器具演習、グルーミング①	
11	器具演習、保定学②	器具演習、グルーミング②	
12	器具演習、保定学③	器具演習、犬体名称	
13	器具演習、保定学④	器具演習、骨格名称	
14	器具演習、保定学⑤	器具演習、ベーシック作業①	
15	器具演習、保定学⑥	器具演習、ベーシック作業②	
16	器具演習、保定学⑦	器具演習、ベーシック作業③	
17	器具演習、保定学⑧	器具演習、ベーシック作業④	
18	まとめ	まとめ	
後 期 (1時限)			
週	教程	教程内容	
1	器具演習、保定学⑨	器具演習、ベーシック作業⑤	
2	器具演習、保定学⑩	器具演習、ベーシック作業⑥	
3	器具演習、保定学⑪	器具演習、ベーシック作業⑦	
4	器具演習、保定学⑫	器具演習、ベーシック作業（特別犬種①）	
5	器具演習、保定学⑬	器具演習、ベーシック作業（特別犬種②）	
6	美容学①	テディベアのトリミング①	
7	美容学②	テディベアのトリミング②	
8	美容学③	テディベアのトリミング③	
9	美容学④	テディベアのトリミング④	
10	美容学⑤	テディベアのトリミング⑤	
11	美容学⑥	テディベアのトリミング⑥	
12	美容学⑦	シーザーのペットクリップ①	
13	美容学⑧	シーザーのペットクリップ②	
14	美容学⑨	シーザーのペットクリップ③	
15	美容学⑩	シーザーのペットクリップ④	
16	美容学⑪	シーザーのペットクリップ⑤	
17	美容学⑫	シーザーのペットクリップ⑥	
18	まとめ	まとめ	

実習科目		動物美容実習	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		器具の使用方法やグルーミングを演習で学び、実習を通じて基本的なベーシック作業の習得までを目標とする。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（3時限）				
週	教程		教程内容	
1	器具演習、ベーシック作業①		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）①	
2	器具演習、ベーシック作業②		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）②	
3	器具演習、ベーシック作業③		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）③	
4	器具演習、ベーシック作業④		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）④	
5	器具演習、ベーシック作業⑤		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑤	
6	器具演習、ベーシック作業⑥		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑥	
7	器具演習、ベーシック作業⑦		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑦	
8	器具演習、ベーシック作業⑧		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑧	
9	器具演習、ベーシック作業⑨		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑨	
10	器具演習、ベーシック作業⑩		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑩	
11	器具演習、ベーシック作業⑪		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑪	
12	器具演習、ベーシック作業⑫		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑫	
13	器具演習、ベーシック作業⑬		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑬	
14	器具演習、ベーシック作業⑭		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑭	
15	器具演習、ベーシック作業⑮		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑮	
16	器具演習、ベーシック作業⑯		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑯	
17	器具演習、ベーシック作業⑰		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑰	
18	器具演習、ベーシック作業⑱		3人に1頭（鉋を使う前の段階まで）⑱	
後 期（3時限）				
週	教程		教程内容	
1	動物美容実習①		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）①	
2	動物美容実習②		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）②	
3	動物美容実習③		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）③	
4	動物美容実習④		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）④	
5	動物美容実習⑤		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑤	
6	動物美容実習⑥		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑥	
7	動物美容実習⑦		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑦	
8	動物美容実習⑧		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑧	
9	動物美容実習⑨		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑨	
10	動物美容実習⑩		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑩	
11	動物美容実習⑪		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑪	
12	動物美容実習⑫		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑫	
13	動物美容実習⑬		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑬	
14	動物美容実習⑭		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑭	
15	動物美容実習⑮		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑮	
16	動物美容実習⑯		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑯	
17	動物美容実習⑰		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑰	
18	動物美容実習⑱		2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）⑱	

実習科目		動物行動実習	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		動物の管理方法、特に伴侶動物である犬のしつけの重要性と実践方法を学び、犬の飼育におけるしつけの重要性を知る。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	人と犬の関係の様々な問題点について①		現在の人と犬との関わりについて知り、共生科の重要性を理解する①	
2	人と犬の関係の様々な問題点について②		現在の人と犬との関わりについて知り、共生科の重要性を理解する②	
3	人と犬の関係の歴史		人と犬の関係の歴史について	
4	人と動物の関係学について		人と動物の新たな関係について	
5	ドッグトレーニングとは①		犬のしつけ・訓練・行動治療の違いについて理解する①	
6	ドッグトレーニングとは②		犬のしつけ・訓練・行動治療の違いについて理解する②	
7	犬のしつけと行動学について		犬のしつけ・訓練・行動治療における行動学の重要性について①	
8	犬のしつけと行動学について		犬のしつけ・訓練・行動治療における行動学の重要性について②	
9	動物行動学とは？①		行動学の定義	
10	動物行動学とは？②		行動発現の機構と機序を知る	
11	行動発現の機構と機序①		生得的行動について	
12	行動発現の機構と機序②		習得的行動について	
13	習得的行動と学習①		習得的行動とオペラント条件付け（行動の強化）について①	
14	習得的行動と学習②		習得的行動とオペラント条件付け（行動の強化）について②	
15	習得的行動と学習③		習得的行動とオペラント条件付け（行動の消去）について	
16	習得的行動と学習④		馴化、古典的条件付け①	
17	習得的行動と学習⑤		馴化、古典的条件付け②	
18	習得的行動と学習⑥		シェイピングを用いた発展的なトレーニングについて	
後 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	訓練実習①		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）①	
2	訓練実習②		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）②	
3	訓練実習③		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）③	
4	訓練実習④		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）④	
5	訓練実習⑤		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑤	
6	訓練実習⑥		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑥	
7	訓練実習⑦		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑦	
8	訓練実習⑧		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑧	
9	訓練実習⑨		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑨	
10	訓練実習⑩		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑩	
11	訓練実習⑪		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑪	
12	訓練実習⑫		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑫	
13	訓練実習⑬		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑬	
14	訓練実習⑭		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑭	
15	訓練実習⑮		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑮	
16	訓練実習⑯		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑯	
17	訓練実習⑰		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑰	
18	訓練実習⑱		3人に1頭（停座、伏臥等基本課題）⑱	

実習科目		動物形態機能学実習	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		動物の身体の形態と機能を骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書1巻、愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	運動器①		代表的な骨の名称と特徴について①	
2	運動器②		代表的な骨の名称と特徴について②	
3	運動器③		代表的な骨の名称と特徴について③	
4	顕微鏡の取り扱い①		顕微鏡各部位の名称、鏡検条件（倍率など）について①	
5	顕微鏡の取り扱い②		顕微鏡各部位の名称、鏡検条件（倍率など）について②	
6	顕微鏡の取り扱い③		顕微鏡の適切な操作法について	
7	顕微鏡の取り扱い④		顕微鏡の適切な管理法について	
8	皮膚について①		皮膚の組織像の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
9	皮膚について②		皮膚の組織像の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
10	皮膚について③		皮膚の組織像の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
11	骨・軟骨・筋肉について①		骨・軟骨・筋肉の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
12	骨・軟骨・筋肉について②		骨・軟骨・筋肉の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
13	骨・軟骨・筋肉について③		骨・軟骨・筋肉の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
14	心臓（循環器）①		心臓（循環器）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
15	心臓（循環器）②		心臓（循環器）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
16	心臓（循環器）③		心臓（循環器）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
17	泌尿器（主に腎臓）①		泌尿器（主に腎臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
18	泌尿器（主に腎臓）②		泌尿器（主に腎臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
後 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	生殖器①		生殖器の雌雄差の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
2	生殖器②		生殖器の雌雄差の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
3	生殖器③		生殖器の雌雄差の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
4	生殖器④		生殖器の雌雄差の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察④	
5	呼吸器①		呼吸器の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
6	呼吸器②		呼吸器の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
7	消化器（口～肛門）①		消化器（口～肛門）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
8	消化器（口～肛門）②		消化器（口～肛門）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
9	消化器（口～肛門）③		消化器（口～肛門）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
10	消化器（口～肛門）④		消化器（口～肛門）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察④	
11	消化腺（唾液腺、肝臓、すい臓）①		消化器（唾液腺、肝臓、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
12	消化腺（唾液腺、肝臓、すい臓）②		消化器（唾液腺、肝臓、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
13	消化腺（唾液腺、肝臓、すい臓）③		消化器（唾液腺、肝臓、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
14	内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）①		内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察①	
15	内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）②		内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察②	
16	内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）③		内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察③	
17	内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）④		内分泌（甲状腺、副腎、すい臓）の特徴について、顕微鏡を用いた組織像の観察④	
18	まとめ		まとめ	

実習科目	動物内科看護学実習	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		
評価方法	筆記試験・実技試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指 導 内 容			
前 期（3時限）			
週	教程	教程内容	
1	ガイダンス	実習の心構え、衛生管理	
2	愛玩動物看護師の役割、保定と抱き方	愛玩動物看護師の役割、保定と抱き方	
3	保定法	犬座位、立位、伏臥位・体重測定	
4	一般身体検査	TPR、保定の復習	
5	動物の観察、一般状態の把握	口腔内、可視粘膜などの観察・BCS・聴診器	
6	動物の観察、視診、触診	リンパ節の触診、横臥位・仰臥位	
7	レントゲン検査	レントゲンの基礎知識と準備	
8	心電図、超音波検査	心電図・超音波検査の基礎知識と準備	
9	動物の観察、耳	耳の構造、耳道検査の保定、耳道洗浄の仕方	
10	動物の観察、眼	眼の構造、眼検査の保定、シルマーティアテスト	
11	注射法	注射薬の種類と準備	
12	投薬法	薬の形状と投薬時間、投薬方法	
13	実技復習①	保定法復習①・試験概要	
14	実技復習②	保定法復習②	
15	実技復習③	保定法復習③	
16	実技復習④	身体検査を行う（触診・聴診・視診）	
17	実技復習⑤	注射法復習	
18	試験	試験（筆記試験、実技試験）	
後 期（3時限）			
週	教程	教程内容	
1	保定法	前期の復習	
2	採血と静脈注射①	採血部位の名称と保定	
3	採血と静脈注射②	採血の準備と分注の仕方、採血の実施	
4	採血と静脈注射③	採血の保定、採血の手技①	
5	採血と静脈注射④	採血の保定、採血の手技②	
6	静脈内カテーテル①	静脈内カテーテルの準備と保定	
7	静脈内カテーテル②	静脈内カテーテルの設置①	
8	静脈内カテーテル③	静脈内カテーテルの設置②	
9	静脈内カテーテル④	静脈内カテーテルの設置③	
10	輸液①	輸液ポンプの使い方①	
11	輸液②	輸液ポンプの使い方②	
12	保定法	大型犬の保定	
13	実技復習①	採血の保定復習	
14	実技復習②	義手を用いた採血	
15	実技復習③	義手を用いた留置針設置①	
16	実技復習④	義手を用いた留置針設置②	
17	まとめ	まとめ	
18	試験	試験（筆記試験、実技試験）	

実習科目		動物臨床検査学実習	1学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。		
評価方法		筆記試験・実技試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト 第3版		
指 導 内 容				
前 期（3時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	遠心分離器について		遠心分離器の名称・操作方法・メンテナンスについて	
2	スポイト・マイクロピペット		マイクロピペットの取り扱いについて	
3	屈折計について		屈折計の名称・操作方法・メンテナンスについて	
4	遠心分離・屈折計復習		遠心分離・屈折計復習	
5	顕微鏡について①		顕微鏡の名称・鏡検条件について	
6	顕微鏡について②		操作方法・メンテナンスについて	
7	小テスト		適切な扱いについての理解度を確認する	
8	糞便検査について①		物理学的性状検査	
9	糞便検査について②		直接塗抹法・集卵法（浮遊法）について①	
10	糞便検査について③		直接塗抹法・集卵法（浮遊法）について②	
11	糞便検査について④		免疫学的検査について	
12	糞便検査について⑤		糞便検査の意義と手技についての理解度を確認する	
13	尿検査について①		物理学的性状検査	
14	尿検査について②		化学的検査	
15	尿検査について③		顕微鏡学的検査	
16	尿検査について④		一連の検査方法について復習①	
17	尿検査について⑤		一連の検査方法について復習②	
18	試験		試験	
後 期（3時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	血液検査について①		CBC検査について①	
2	血液検査について②		CBC検査について②	
3	血液検査について③		ヘマトクリット管検査方法について	
4	小テスト		小テスト	
5	血液検査について④		血液塗抹検査について①	
6	血液検査について⑤		血液塗抹検査について②	
7	血液検査について⑥		血液塗抹検査について③	
8	小テスト		小テスト	
9	血液検査について⑦		生化学検査について①	
10	血液検査について⑧		生化学検査について②	
11	血液検査について⑨		生化学検査について③	
12	血液検査について⑩		生化学検査について④	
13	血液検査について⑪		簡易血清学的検査	
14	血液検査まとめ①		一連の検査方法について復習①	
15	血液検査まとめ②		一連の検査方法について復習②	
16	血液検査まとめ③		一連の検査方法について復習③	
17	細胞診		細胞診の準備、補助について	
18	試験		試験	

一般科目	パソコン演習	2学年	前後期
目的及 留意点	パソコンの基本操作を通じ、情報の整理・加工・発信の技術を身に付ける。		
評価方法	実技課題		
テキスト	30時間でマスターOFFICE 2019		
指導内容			
前期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	Word作成①	フォルダ作成 Word画面構成	
2	Word作成②	文字変換 タイピング ページ設定	
3	Word作成③	社外文書① 書式BIUまで	
4	Word作成④	社外文書②	
5	Word作成⑤	段落 フォトリレー①	
6	Word作成⑥	段落 フォトリレー②	
7	課題①	社外文書	
8	Word作成⑦	課題①解説	
9	Word作成⑧	作表①	
10	Word作成⑨	作表②	
11	Word作成⑩	作表③	
12	課題②	作表④	
13	Word作成⑪	課題②解説	
14	Word作成⑫	図形①	
15	Word作成⑬	図形②	
16	Word作成⑭	図形③	
17	課題③	図形④	
18	Word作成⑮	課題③解説、まとめ	
後期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	Excel作成①	Excel表作成	
2	Excel作成②	四則演算方法 オートフィル 合計①	
3	Excel作成③	四則演算方法 オートフィル 合計②	
4	Excel作成④	関数 平均最大最小 count counta 絶対セル参照 割合①	
5	Excel作成⑤	関数 平均最大最小 count counta 絶対セル参照 割合②	
6	課題①	Excel課題①	
7	Excel作成⑥	Excel課題①解説	
8	Excel作成⑦	四捨五入など	
9	Excel作成⑧	罫線	
10	課題②	Excel課題②	
11	Excel作成⑨	Excel課題②解説	
12	Excel作成⑩	グラフ書式各種①	
13	Excel作成⑪	グラフ書式各種②	
14	Excel作成⑬	グラフ書式各種③	
15	課題③	Excel課題③（グラフ）	
16	Excel作成⑭	Excel課題③（グラフ）解説	
17	Excel作成⑮	if関数	
18	まとめ	まとめ	

専門科目	動物繁殖学	2学年	前後期
目的及び留意点	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書1巻		
指導内容			
前期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	生殖器の形態と機能①	生殖とその分類	
2	生殖器の形態と機能②	生殖器の基本的なしくみ（オス）	
3	生殖器の形態と機能③	生殖器の基本的なしくみ（メス）	
4	生殖器の形態と機能④	生殖機能調節に関わるホルモン（総論）	
5	生殖器の形態と機能⑤	生殖機能調節に関わるホルモン（各論）①	
6	生殖器の形態と機能⑥	生殖機能調節に関わるホルモン（各論）②	
7	性周期と交配①	発情徴候と発情周期（イヌ）①	
8	性周期と交配②	発情徴候と発情周期（イヌ）②	
9	性周期と交配③	発情徴候と発情周期（ネコ）①	
10	性周期と交配④	発情徴候と発情周期（ネコ）②	
11	性周期と交配⑤	受精と妊娠①	
12	性周期と交配⑥	受精と妊娠②	
13	性周期と交配⑦	受精と妊娠③	
14	妊娠と分娩①	分娩と助産①	
15	妊娠と分娩②	分娩と助産②	
16	妊娠と分娩③	帝王切開	
17	妊娠と分娩④	去勢手術①	
18	妊娠と分娩⑤	去勢手術②	
後期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	妊娠と分娩⑥	避妊手術①	
2	妊娠と分娩⑦	避妊手術②	
3	妊娠と分娩⑧	人工授精①	
4	妊娠と分娩⑨	人工授精②	
5	新生子管理①	新生子期とは	
6	新生子管理②	新生子期の発育過程	
7	新生子管理③	新生子のための飼養環境①	
8	新生子管理④	新生子のための飼養環境②	
9	新生子管理⑤	新生子のための飼養環境③	
10	新生子管理⑥	新生子がかかりやすい疾患	
11	新生子管理⑦	新生子の解剖学的特徴①	
12	新生子管理⑧	新生子の解剖学的特徴②	
13	新生子管理⑨	新生子の生理的機能①	
14	新生子管理⑩	新生子の生理的機能②	
15	遺伝学概論①	遺伝のメカニズム	
16	遺伝学概論②	遺伝様式	
17	遺伝学概論③	遺伝子疾患	
18	遺伝学概論④	発生異常	

専門科目		動物行動学	2学年	前後期
目的及 留意点		犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	動物行動学の基礎①		動物行動学の四つの問い（適応・進化・機構・発達）	
2	動物行動学の基礎②		行動の進化と適応	
3	動物行動学の基礎③		家畜化	
4	動物行動学の基礎④		生得的行動	
5	動物行動学の基礎⑤		学習行動	
6	動物行動学の基礎⑥		脳による行動制御	
7	個体維持行動①		摂食行動・飲水行動	
8	個体維持行動②		排泄行動	
9	個体維持行動③		身づくろい行動	
10	個体維持行動④		護身行動	
11	発達過程①		発達ステージ（新生児期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期）	
12	発達過程②		各発達ステージの行動学的特徴	
13	社会行動①		生殖行動（性行動・母性行動）	
14	社会行動②		コミュニケーション行動	
15	社会行動③		敵対行動	
16	社会行動④		親和的行動	
17	試験		試験	
18	まとめ		まとめ	
後 期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	学習理論①		行動形成	
2	学習理論②		馴化	
3	学習理論③		感作	
4	学習理論④		古典的条件づけ	
5	学習理論⑤		オペラント条件づけ	
6	学習理論⑥		基本的なトレーニング法（トイレトレーニング）	
7	学習理論⑦		基本的なトレーニング法（クレートトレーニング）	
8	学習理論⑧		基本的なトレーニング法（甘噛み対策）	
9	問題行動①		問題行動の定義と要因	
10	問題行動②		攻撃行動の種類、原因（動機付け）と治療法	
11	問題行動③		恐怖・不安に起因する問題行動の原因（動機付け）と治療法	
12	問題行動④		不適切な排泄行動の原因（動機付け）と治療法	
13	問題行動⑤		高齢性認知機能不全の原因と臨床徴候、対応法	
14	行動治療①		行動診療の進め方	
15	行動治療②		行動修正法と環境修正法	
16	行動治療③		薬物療法	
17	試験		試験	
18	まとめ		まとめ	

専門科目		動物栄養学	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患事の 違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。また疾患と栄養の関係や飼い 主への栄養指導についても学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		犬と猫の栄養学 第2版		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ペットフードについて①		ペットフードの歴史	
2	ペットフードについて②		ペットフードの基礎知識	
3	ペットフードについて③		ペットフードラベル記載方法	
4	ペットフードについて④		ペットフードの種類	
5	ペットフードについて⑤		ペットフードの製造方法	
6	ペットフードについて⑥		ペットフードの選び方 基本	
7	ペットフードについて⑦		ペットフードの選び方 その他ポイント	
8	ペットフードについて⑧		サプリメント	
9	ペットフードについて⑨		ペットフードの法規制	
10	ライフステージ別栄養管理①		成長期の栄養管理①	
11	ライフステージ別栄養管理②		成長期の栄養管理②	
12	ライフステージ別栄養管理③		維持期の栄養管理①	
13	ライフステージ別栄養管理④		維持期の栄養管理②	
14	ライフステージ別栄養管理⑤		妊娠期・授乳期の栄養管理①	
15	ライフステージ別栄養管理⑥		妊娠期・授乳期の栄養管理②	
16	ライフステージ別栄養管理⑦		高齢期の栄養管理①	
17	ライフステージ別栄養管理⑧		高齢期の栄養管理②	
18	まとめ		まとめ	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	栄養指導①		栄養診断について	
2	栄養指導②		適正給与量の決め方①	
3	栄養指導③		適正給与量の決め方②	
4	栄養指導④		フードの選択と栄養指導①	
5	栄養指導⑤		フードの選択と栄養指導②	
6	栄養指導⑥		肥満の弊害と減量プログラム①	
7	栄養指導⑦		肥満の弊害と減量プログラム②	
8	疾患と栄養の関係①		療法食の基礎知識	
9	疾患と栄養の関係②		慢性腎臓病の栄養管理①	
10	疾患と栄養の関係③		慢性腎臓病の栄養管理②	
11	疾患と栄養の関係④		尿石症の栄養管理①	
12	疾患と栄養の関係⑤		尿石症の栄養管理②	
13	疾患と栄養の関係⑥		尿石症の栄養管理③	
14	疾患と栄養の関係⑦		心血管系疾患の栄養管理①	
15	疾患と栄養の関係⑧		心血管系疾患の栄養管理②	
16	疾患と栄養の関係⑨		消化器疾患の栄養管理①	
17	疾患と栄養の関係⑩		消化器疾患の栄養管理②	
18	疾患と栄養の関係⑪		消化器疾患の栄養管理③	

専門科目		比較動物学	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物等の基本的事項について学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教程	教程内容		
1	動物の種類及び特性①	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の種類及び特性①		
2	動物の種類及び特性②	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の種類及び特性②		
3	動物の種類及び特性③	愛玩動物と野生動物の比較、その歴史、社会的位置づけ及び特徴		
4	動物の種類及び特性④	産業動物と野生動物の比較、その歴史、社会的位置づけ及び特徴		
5	動物の種類及び特性⑤	実験動物と野生動物の比較、その歴史、社会的位置づけ及び特徴		
6	動物の種類及び特性⑥	展示動物と野生動物の比較、その歴史、社会的位置づけ及び特徴		
7	産業動物①	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴①		
8	産業動物②	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴②		
9	産業動物③	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴③		
10	産業動物④	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴④		
11	産業動物⑤	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴⑤		
12	産業動物⑥	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴⑥		
13	産業動物⑦	各家畜の消化器の形態と機能		
14	産業動物⑧	各家畜の食性		
15	産業動物⑨	各家畜の性周期		
16	産業動物⑩	各家畜の繁殖生理		
17	産業動物⑪	各家畜の飼養施設の概要		
18	産業動物⑫	各家畜の食性と飼養法		
後 期（1時限）				
週	教程	教程内容		
1	実験動物①	動物実験の目的		
2	実験動物②	動物実験の意義		
3	実験動物③	代表的な実験動物の飼養管理		
4	実験動物④	代表的な実験動物の繁殖法		
5	実験動物⑤	遺伝学的制御		
6	実験動物⑥	微生物学的制御		
7	実験動物⑦	環境制御		
8	実験動物⑧	疾患モデル動物		
9	野生動物①	野生動物の分類		
10	野生動物②	野生動物の生物多様性		
11	野生動物③	鳥獣害の現状		
12	野生動物④	鳥獣害の保全の意義		
13	野生動物⑤	絶滅危惧種の定義		
14	野生動物⑥	絶滅危惧種に含まれる動物		
15	野生動物⑦	絶滅危惧種の原因		
16	野生動物⑧	絶滅危惧種の保全方法		
17	展示動物①	展示動物の意義と動物園等の役割		
18	展示動物②	動物園等における個体・群管理、行動管理、施設管理		

専門科目	動物愛護・適正飼養関連法規	2学年	後期
目的及び留意点	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	プリント		
指導内容			
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	愛護・適正飼養関連行政法規①	動物愛護管理法（目的、法律の対象、所有者・販売者の責務、取扱業者の規制）	
2	愛護・適正飼養関連行政法規②	動物愛護管理法（特定動物、犬及び猫の登録、罰則）	
3	愛護・適正飼養関連行政法規③	ペットフード安全法（制定の背景、目的、法律の対象、事業者の責任）	
4	愛護・適正飼養関連行政法規④	ペットフード安全法（ペットフードの安全性の確保する体制）	
5	社会福祉行政・環境衛生法規①	身体障害者補助犬法（目的、補助犬の定義、良質な補助犬の育成）	
6	社会福祉行政・環境衛生法規②	身体障害者補助犬法（アクセスの保障、医療従事者と法）	
7	社会福祉行政・環境衛生法規③	廃棄物処理法（目的、廃棄物の定義、それぞれの責務）	
8	社会福祉行政・環境衛生法規④	化製場等に関する法律（目的、獣畜の定義、規制内容、多頭飼育の許可）	
9	野生動物等に関する法律及び条約①	生物多様性基本法（目的、定義、基本原則、それぞれの責務）	
10	野生動物等に関する法律及び条約②	外来生物法（目的、特定外来生物の定義、基本方針）	
11	野生動物等に関する法律及び条約③	外来生物法（禁止事項、罰則）	
12	野生動物等に関する法律及び条約④	ワシントン条約・ラムサール条約（目的、定義、規制、附属書）	
13	野生動物等に関する法律及び条約⑤	種の保存法（目的、責務、定義）	
14	野生動物等に関する法律及び条約⑥	種の保存法（レッドリスト・レッドデータブック、禁止事項、届出）	
15	野生動物等に関する法律及び条約⑦	鳥獣保護管理法（目的、定義、狩猟について、規制、鳥獣保護区）	
16	野生動物等に関する法律及び条約⑧	自然公園法（目的、定義、それぞれの地区・地域）	
17	野生動物等に関する法律及び条約⑨	文化財保護法（目的、定義、天然記念物・特別天然記念物）	
18	まとめ	まとめ	

専門科目		動物薬理学	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書2巻		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	動物薬理学総論①		薬理学概論、薬と薬理作用、医薬品の基準と分類、薬の剤形と投与方法	
2	動物薬理学総論②		薬物の管理方法、薬理作用の発現機構、生体内での薬の動態（吸収、分布、代謝、排泄）	
3	動物薬理学総論③		薬効に影響を与える因子、薬の有害作用、医薬品の開発	
4	処方と調剤		処方・調剤・監査、薬剤管理、薬袋の記入・服薬指導、薬歴記載	
5	神経系作用薬①		自律神経作用薬の基本的事項、副交感神経興奮薬	
6	神経系作用薬②		交感神経興奮薬	
7	神経系作用薬③		体性神経作用薬の基本的事項、局所麻酔薬、筋弛緩薬	
8	神経系作用薬④		中枢神経作用薬の基本的事項、全身麻酔薬	
9	神経系作用薬⑤		鎮静・催眠薬、問題行動の治療薬（向精神薬）	
10	神経系作用薬⑥		抗痙攣薬、鎮痛薬、大脳皮質興奮薬	
11	循環器系作用薬①		心不全治療薬、抗不整脈薬	
12	循環器系作用薬②		血管拡張薬（降圧薬）	
13	血液系作用薬①		貧血の発生機序と抗貧血薬、血液凝固阻害薬	
14	血液系作用薬②		血液凝固促進薬（止血薬）	
15	内分泌・代謝・免疫系作用薬①		オータコイド、抗炎症薬（非ステロイド・ステロイド）	
16	内分泌・代謝・免疫系作用薬②		鎮痛薬、免疫に影響を与える薬	
17	呼吸器系作用薬①		呼吸興奮薬、鎮咳薬	
18	呼吸器系作用薬②		抗喘息薬（気管支拡張薬）、去痰薬	
後 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	消化器系作用薬①		抗潰瘍薬、消化管運動促進（調整）薬および抑制薬（鎮痙薬）	
2	消化器系作用薬②		止瀉（制瀉）薬、瀉下薬（緩下薬、下剤）制吐薬と催吐薬、肝・脾疾患の治療薬	
3	内分泌・代謝計作用薬①		副腎皮質疾患治療薬、甲状腺機能障害の治療薬	
4	内分泌・代謝計作用薬②		糖尿病治療薬	
5	泌尿器系作用薬①		利尿薬、排尿障害治療薬	
6	泌尿器系作用薬②		頻尿治療薬	
7	化学療法薬①		抗菌薬の選択	
8	化学療法薬②		抗菌薬の種類と特徴、抗ウイルス薬	
9	化学療法薬③		抗真菌薬の種類と特徴	
10	化学療法薬④		寄生虫予防薬、駆虫薬	
11	化学療法薬⑤		殺虫薬	
12	化学療法薬⑥		消毒薬①	
13	化学療法薬⑦		消毒薬②	
14	化学療法薬⑧		悪性腫瘍について、悪性腫瘍の治療	
15	化学療法薬⑨		悪性腫瘍治療薬（抗がん剤の分類）	
16	化学療法薬⑩		悪性腫瘍治療薬（抗がん剤の分類）、抗腫瘍薬の使用例	
17	処方と調剤①		薬用量計算	
18	処方と調剤②		薬用量計算、薬剤情報収集	

専門科目		動物感染症学	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。また感染防御に関わる免疫学の基礎について学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		犬・猫・エキゾチックペットの寄生虫ビジュアルガイド		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	微生物検査①		検体採取と取り扱い①	
2	微生物検査②		検体採取と取り扱い②	
3	微生物検査③		無菌環境下での必要な主義について①	
4	微生物検査④		無菌環境下での必要な主義について②	
5	微生物検査⑤		微生物染色法、顕微鏡による観察法①	
6	微生物検査⑥		微生物染色法、顕微鏡による観察法②	
7	微生物検査⑦		微生物培養法①	
8	微生物検査⑧		微生物培養法②	
9	微生物検査⑨		抗原検出法①	
10	微生物検査⑩		抗原検出法②	
11	微生物検査⑪		抗体検出法③	
12	微生物検査⑫		抗体検出法④	
13	微生物検査⑬		遺伝子検出法（PCR検査含む）①	
14	微生物検査⑭		遺伝子検出法（PCR検査含む）②	
15	微生物検査⑮		薬剤耐性試験①	
16	微生物検査⑯		薬剤耐性試験②	
17	まとめ		まとめ	
18	定期試験		定期試験	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	免疫学の基礎・応用①		免疫担当細胞とその役割①	
2	免疫学の基礎・応用②		免疫担当細胞とその役割②	
3	免疫学の基礎・応用③		自然免疫	
4	免疫学の基礎・応用④		獲得免疫	
5	免疫学の基礎・応用⑤		液性免疫	
6	免疫学の基礎・応用⑥		細胞性免疫	
7	免疫学の基礎・応用⑦		アレルギー①	
8	免疫学の基礎・応用⑧		アレルギー②	
9	免疫学の基礎・応用⑨		アレルギー③	
10	免疫学の基礎・応用⑩		アレルギー④	
11	免疫学の基礎・応用⑪		自己免疫疾患①	
12	免疫学の基礎・応用⑫		自己免疫疾患②	
13	免疫学の基礎・応用⑬		自己免疫疾患③	
14	免疫学の基礎・応用⑭		ワクチンの原理と種類、接種プログラム①	
15	免疫学の基礎・応用⑮		ワクチンの原理と種類、接種プログラム②	
16	免疫学の基礎・応用⑯		ワクチンの原理と種類、接種プログラム③	
17	まとめ		まとめ	
18	定期試験		定期試験	

専門科目		公衆衛生学	2学年	前後期
目的及 留意点		環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や 疾病予防への応用について理解する。また環境問題や廃棄物問題、衛生生物につい ても学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ガイダンス、公衆衛生の概要と考え方		授業の進め方・成績評価等	
2	食品衛生の概念①		食糧確保と食品衛生の定義	
3	食品衛生の概念②		一般原則	
4	食品衛生行政と関連法規①		食品衛生業務	
5	食品衛生行政と関連法規②		と畜場法・食鳥処理法	
6	食品衛生行政と関連法規③		食品衛生法の概要	
7	食中毒①		食中毒の概要	
8	食中毒②		細菌性食中毒①	
9	食中毒③		細菌性食中毒②	
10	食中毒④		ウイルス性食中毒	
11	食中毒⑤		寄生虫性食中毒、	
12	食中毒⑥		自然毒による食中毒	
13	食中毒⑦		食物アレルギー	
14	食品の保存と安全性確保①		動物性食品の衛生	
15	食品の保存と安全性確保②		食品の保存法	
16	食品の保存と安全性確保③		食品安全行政の動向	
17	食品の保存と安全性確保④		食品由来の健康被害防止（GLP、GMP）	
18	食品の保存と安全性確保⑤		食品由来の健康被害防止（HACCP）	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	定期試験解説・後期ガイダンス		前期の定期試験解説、後期の授業概要説明	
2	環境衛生の概要		環境衛生とは	
3	地球規模の環境問題①		地球温暖化、典型 7 公害	
4	地球規模の環境問題②		地球温暖化、典型 7 公害	
5	地球規模の環境問題③		地球温暖化、典型 7 公害	
6	水の衛生①		浄水処理	
7	水の衛生②		水質汚濁	
8	水の衛生③		水系感染症	
9	生活環境①		化学物質による健康被害とアレルギー	
10	生活環境②		騒音、悪臭	
11	廃棄物問題①		循環型社会と廃棄物	
12	廃棄物問題②		感染性廃棄物	
13	廃棄物問題③		廃棄物処理法と動物病院	
14	廃棄物問題④		放射性物質と特定廃棄物	
15	衛生生物①		衛生動物による被害と対策（蚊、ハエ等）	
16	衛生生物②		衛生動物による被害と対策（ゴキブリ、トコジラミ等）	
17	衛生生物③		衛生動物による被害と対策（その他害虫、ネズミ等）	
18	衛生生物④		動物との共生と公衆衛生	

専門科目		動物内科看護学	2学年	前後期
目的及 留意点		内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。また応用として実務を意識した技術についても学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		愛玩動物看護師カリキュラム準拠 実習テキスト第3版		
指導内容				
前期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	X線検査と CT/MRI に関わる技術①		X線検査の目的と意義、原理 CR, デジタルX線撮影	
2	X線検査と CT/MRI に関わる技術②		放射線防護の3原則、確定的影響、確率的影響、散乱線	
3	X線検査と CT/MRI に関わる技術③		CT 及び MRI の概要について理解する	
4	検査や処置の介助に必要な技術①		穿刺と吸引	
5	検査や処置の介助に必要な技術②		酸素吸入	
6	検査や処置の介助に必要な技術③		マイクロチップ	
7	投薬に関わる技術①		薬の処方について、内服薬の使用法、□	
8	投薬に関わる技術②		投薬量の計算	
9	投薬に関わる技術③		投薬量の計算	
10	投薬に関わる技術④		注射法について	
11	投薬に関わる技術⑤		外用薬の使用法	
12	投薬に関わる技術⑥		薬浴の実施方法	
13	投薬に関わる技術⑦		投与方法とその介助	
14	投薬に関わる技術⑧		投薬前後の注意点	
15	輸液に関わる技術①		輸液の適応とリスク	
16	輸液に関わる技術②		輸液計画についての理解	
17	輸液に関わる技術③		各種輸液剤の特性や適応	
18	輸液に関わる技術④		輸液中のモニタリング	
後期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	輸血に関わる技術①		輸血の適応とリスク、輸血計画、	
2	輸血に関わる技術②		クロスマッチ試験	
3	輸血に関わる技術③		各種輸血剤の適応や特性	
4	輸血に関わる技術④		輸血に関わる手技、副反応	
5	心電図と血圧に関わる技術①		解剖学の復習	
6	心電図と血圧に関わる技術②		心電図検査の目的と意義	
7	心電図と血圧に関わる技術③		実施方法	
8	心電図と血圧に関わる技術④		血圧測定の意義、方法	
9	内視鏡検査に関わる技術①		内視鏡検査の目的と意義	
10	内視鏡検査に関わる技術②		実施方法、スコープの洗浄・消毒	
11	神経学的検査に関わる技術①		姿勢反応と脊髄反射	
12	神経学的検査に関わる技術②		脳神経の検査法	
13	神経学的検査に関わる技術③		神経学的検査の評価記録法	
14	眼科検査に関わる技術①		シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義	
15	眼科検査に関わる技術②		眼圧測定の方法と意義、眼底検査の方法と意義	
16	皮膚と耳の検査に関わる技術①		皮膚病変の観察と記録法	
17	皮膚と耳の検査に関わる技術②		皮膚掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査	
18	皮膚と耳の検査に関わる技術③		ウッド灯検査と真菌培養法、外耳道の検査方法と意義	

専門科目		動物外科看護学	2学年	前後期
目的及 留意点		外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指導内容				
前期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	エマージェンシー 1		緊急医療とは、トリアージ	
2	エマージェンシー 2		獣医療のトリアージ、トリアージの評価法	
3	エマージェンシー 3		救命の連鎖/RECOVERガイドライン	
4	エマージェンシー 4		心配停止、心配蘇生準備	
5	エマージェンシー 5		一次救命処置（胸部圧迫）	
6	エマージェンシー 6		一次救命処置（呼吸管理）	
7	エマージェンシー 7		二次救命処置（薬剤の投与経路）	
8	エマージェンシー 8		二次救命処置（使用される薬剤）	
9	エマージェンシー 9		二次救命処置（モニタリング）	
10	エマージェンシー 10		二次救命処置（徐細動）	
11	救急時の検査		FAST検査	
12	外傷・創傷管理 1		創傷管理	
13	外傷・創傷管理 2		止血法	
14	外傷・創傷管理 3		ドレーン装着法	
15	外傷・創傷管理 4		骨折や脱臼の管理	
16	総復習		まとめ	
17	総復習		まとめ	
18	試験		定期試験	
後期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	術前検査 1		術前検査の種類と目的	
2	術前検査 2		血液検査	
3	術前検査 3		X線検査、心電図検査、超音波検査	
4	術前検査 4		小テスト	
5	去勢手術 1		雄性生殖器解剖	
6	去勢手術 2		去勢手術の目的	
7	去勢手術 3		去勢手術の術式	
8	去勢手術 4		小テスト	
9	不妊手術 1		雌性生殖器解剖	
10	不妊手術 2		不妊手術の目的	
11	不妊手術 3		不妊手術の術式	
12	不妊手術 4		不妊手術の合併症	
13	不妊手術 5		小テスト	
14	術後管理 1		術後の動物看護	
15	術後管理 2		痛みの評価	
16	術後管理 3		術創管理と包帯法	
17	術後管理 4		退院時の注意点と飼い主への説明事項	
18	試験		定期試験	

専門科目		動物臨床看護学総論	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		なし		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	動物看護業務①		獣医療の推移、動物看護師の役割	
2	動物看護業務②		動物看護の対象、ケアの標準化（クリティカルパス）	
3	動物看護業務③		入院管理の意義・入院動物の管理	
4	動物看護業務④		事故防止管理（リスクマネジメント）	
5	動物看護過程の展開①		動物看護過程の目的・意義	
6	動物看護過程の展開②		アセスメント	
7	動物看護過程の展開③		アセスメント（情報解釈）の練習	
8	動物看護過程の展開④		アセスメント練習の解説	
9	動物看護過程の展開⑤		動物看護診断 問題点の描出	
10	動物看護過程の展開⑥		アセスメントから問題点を考える	
11	動物看護過程の展開⑦		動物看護計画	
12	動物看護過程の展開⑧		動物看護評価	
13	動物看護過程の展開⑨		症例による動物看護診断・動物看護計画の立案①	
14	動物看護過程の展開⑩		解説	
15	動物看護過程の展開⑪		症例による動物看護診断・動物看護計画の立案②	
16	動物看護過程の展開⑫		解説	
17	まとめ		まとめ	
18	定期試験		定期試験	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	経過に基づく看護内容（概要）①		急性期の動物看護	
2	経過に基づく看護内容（概要）②		慢性期の動物看護	
3	経過に基づく看護内容（概要）③		回復期、リハビリテーション期の動物看護	
4	経過に基づく看護内容（概要）④		終末期の動物看護	
5	周術期の動物看護①		術前の動物看護	
6	周術期の動物看護②		術中の動物看護	
7	周術期の動物看護③		術後の動物看護	
8	周術期の動物看護④		痛み・ストレス管理	
9	新生子管理①		新生子の扱い、哺乳の重要性	
10	新生子管理②		各生理機能の発達時期	
11	老齢動物の看護①		平均寿命と体に与える影響	
12	老齢動物の看護②		認知症について	
13	老齢動物の看護③		褥瘡管理について	
14	自宅での看護		自宅での管理について 退院計画・飼い主指導	
15	終末期看護①		ターミナルケア、ホスピス、緩和ケア	
16	終末期看護②		ペットロス・グリーフケア、エンゼルケア	
17	まとめ		まとめ	
18	定期試験		定期試験	

専門科目	動物臨床看護学各論	2学年	前後期
目的及び留意点	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	カラーアトラス最新くわしい犬の病気大図典		
指導内容			
前期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	総論	動物看護学各論の概要	
2	兆候や疾患の理解と対処①	代表的な兆候について	
3	兆候や疾患の理解と対処②	兆候の評価と記録法について	
4	兆候や疾患の理解と対処③	痛みの評価について	
5	代表的な兆候①	全身兆候（食欲不振・廃絶、元気喪失、発熱、疼痛、消瘦）	
6	代表的な兆候②	特異的兆候（運動不耐・咳・心雑音・不整脈・高血圧・努力性呼吸・流涎等）	
7	代表的な兆候③	特異的兆候（運動不耐・咳・心雑音・不整脈・高血圧・努力性呼吸・流涎等）	
8	代表的な兆候④	特異的病態（尿毒症・肝性脳症・褥瘡・DIC）	
9	眼疾患①	結膜炎、角膜炎、乾性角結膜炎、角膜潰瘍	
10	眼疾患②	ブドウ膜炎、緑内障、白内障、核硬化症	
11	眼疾患③	流涙症、第三眼瞼突出、異所性睫毛	
12	まとめ	眼疾患まとめ	
13	皮膚疾患①	膿皮症、脂漏症	
14	皮膚疾患②	アトピー性皮膚炎、ノミアレルギー性皮膚炎、食物アレルギー	
15	皮膚疾患③	好酸球性肉芽腫、天疱瘡、マラセチア皮膚炎、メラノーマ	
16	皮膚疾患④	外耳炎、疥癬、耳ヒゼンダニ症	
17	皮膚疾患⑤	毛包虫症、皮膚糸状菌症	
18	まとめ	皮膚疾患まとめ	
後期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	運動器疾患①	骨折	
2	運動器疾患②	脱臼・膝蓋骨脱臼	
3	運動器疾患③	関節炎、変形性関節症、前十字靱帯断裂、股異形成	
4	まとめ	運動器疾患まとめ	
5	消化器疾患①	歯石症、不正咬合	
6	消化器疾患②	歯肉炎、歯周炎、口内炎、口蓋裂	
7	消化器疾患③	食道炎、食堂狭窄、巨大食道症、幽門狭窄	
8	消化器疾患④	胃拡張胃捻転症候群、胃炎	
9	消化器疾患⑤	タンパク喪失性腸症、炎症性腸疾患	
10	消化器疾患⑥	食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症	
11	消化器疾患⑦	消化管内異物、腸閉塞、腸捻転、腸重積	
12	消化器疾患⑧	巨大結腸症、直腸脱、会陰ヘルニア	
13	消化器疾患⑨	パルボウイルス感染症	
14	消化器疾患⑩	肝炎、肝硬変	
15	消化器疾患⑪	肝リポドーシス、門脈体循環シャント、胆嚢粘液脳腫	
16	消化器疾患⑫	膵炎、膵外分泌不全症	
17	消化器疾患⑬	消化器疾患まとめ	
18	復習	総復習	

専門科目	愛玩動物学	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	愛玩動物の歴史や品種、適切な飼育管理方法について理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	カラーアトラスエキゾチックアニマル 哺乳類編 第3版		
指 導 内 容			
前 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	犬の歴史・品種・飼養管理①	歴 史、現在の飼育状況	
2	犬の歴史・品種・飼養管理②	犬の活用	
3	犬の歴史・品種・飼養管理③	代表的な品種の特徴①	
4	犬の歴史・品種・飼養管理④	代表的な品種の特徴②	
5	犬の歴史・品種・飼養管理⑤	飼養管理①	
6	犬の歴史・品種・飼養管理⑥	飼養管理②	
7	犬の歴史・品種・飼養管理⑦	品種に適したグルーミング	
8	猫の歴史・品種・飼養管理⑧	歴 史、現在の飼育状況	
9	猫の歴史・品種・飼養管理⑨	猫の活用、特徴	
10	猫の歴史・品種・飼養管理⑩	ライフサイクル	
11	猫の歴史・品種・飼養管理⑪	代表的な品種の特徴	
12	猫の歴史・品種・飼養管理⑫	飼養管理①	
13	猫の歴史・品種・飼養管理⑬	飼養管理②	
14	猫の歴史・品種・飼養管理⑭	品種に適したグルーミング	
15	愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	背景、主な品種、飼養管理①	
16	モルモットの特徴・生態・飼養管理	背景、主な品種、飼養管理②	
17	フェレットの特徴・生態・飼養管理	背景、主な品種、飼養管理③	
18	カメの特徴・生態・飼養管理	背景、主な品種、飼養管理④	
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態①	エキゾチックとは、飼育者の価値観	
2	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態②	エキゾチックアニマルの特徴	
3	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態③	ミニブタの特徴、グリーンイグアナの飼養管理	
4	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態④	カエルの飼養管理、オグロプレーリードッグの特徴	
5	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態⑤	ズーノーシスと法律	
6	エキゾチックアニマルの種類・特徴・生態⑥	法律	
7	ウサギの適切な飼養管理方法①	分類	
8	ウサギの適切な飼養管理方法②	生態	
9	ウサギの適切な飼養管理方法③	保定、意思表示、ストレス	
10	ウサギの適切な飼養管理方法④	飼養管理①	
11	ウサギの適切な飼養管理方法⑤	飼養管理②	
12	ウサギの適切な飼養管理方法⑥	飼養管理③	
13	ウサギの適切な飼養管理方法⑦	飼養管理④	
14	ハムスターの適切な飼養管理方法①	品種、特徴	
15	ハムスターの適切な飼養管理方法②	生態	
16	ハムスターの適切な飼養管理方法③	飼養管理①	
17	ハムスターの適切な飼養管理方法④	飼養管理②	
18	まとめ	まとめ	

専門科目	コミュニケーショントレーニング	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主対応やスタッフ間での接し方を学ぶ。後期は動物臨床助士中級対策授業として、カルテをはじめとした情報の記録・管理、電話応対、会計業務などの主に動物院内業務について習得する。		
評価方法	発表・筆記試験		
テキスト	プリント		
指 導 内 容			
前 期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	初頭効果①	自分の印象を知る、第一印象をよくするためのポイント①	
2	初頭効果②	自分の印象を知る、第一印象をよくするためのポイント②	
3	話すスキル①	1分間スピーチ①	
4	話すスキル②	1分間スピーチ②	
5	話すスキル③	1分間スピーチ③	
6	話すスキル④	1分間スピーチ④	
7	話すスキル⑤	1分間スピーチ振り返り	
8	ディスカッション①	ディスカッション概要	
9	ディスカッション②	ディスカッション実施①	
10	ディスカッション③	ディスカッション実施②	
11	ディスカッション④	ディスカッション振り返り①	
12	ディスカッション⑤	ディスカッション振り返り②	
13	ディベート①	ディベート概要	
14	ディベート②	ディベート実施①	
15	ディベート③	ディベート実施②	
16	ディベート④	ディベート振り返り①	
17	ディベート⑤	ディベート振り返り②	
18	まとめ	まとめ	
後 期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	院内コミュニケーション①	クレームの種類・分類	
2	院内コミュニケーション②	各種クレームへの対応	
3	院内コミュニケーション③	クレーム対応ケーススタディ	
4	クライアントエデュケーション	クライアントエデュケーションとは	
5	クライアントエデュケーション	避妊去勢手術①	
6	クライアントエデュケーション	避妊去勢手術②	
7	クライアントエデュケーション	フィラリア・ノミ・ダニ予防①	
8	クライアントエデュケーション	フィラリア・ノミ・ダニ予防②	
9	クライアントエデュケーション	各種ワクチンプログラム（狂犬病、混合ワクチン）①	
10	クライアントエデュケーション	各種ワクチンプログラム（狂犬病、混合ワクチン）②	
11	クライアントエデュケーション	各種ワクチンプログラム（狂犬病、混合ワクチン）③	
12	クライアントエデュケーション	日常の健康管理について（歯磨き、健康チェック）①	
13	クライアントエデュケーション	日常の健康管理について（歯磨き、健康チェック）②	
14	院内セミナー	飼い主向けセミナーの準備①	
15	院内セミナー	飼い主向けセミナーの準備②	
16	院内セミナー	飼い主向けセミナー実施①	
17	院内セミナー	飼い主向けセミナー実施②	
18	まとめ	まとめ	

実習科目		動物美容実習	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		器具の使用方法やグルーミングを演習で学び、実習を通じて基本的なトリミングの習得までを目標とする。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（5時限）				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング①	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
2	グルーミング②	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
3	グルーミング③	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
4	グルーミング④	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
5	グルーミング⑤	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
6	グルーミング⑥	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
7	グルーミング⑦	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
8	グルーミング⑧	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
9	グルーミング⑨	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
10	グルーミング⑩	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
11	グルーミング⑪	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
12	グルーミング⑫	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
13	グルーミング⑬	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
14	グルーミング⑭	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
15	グルーミング⑮	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
16	グルーミング⑯	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
17	グルーミング⑰	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
18	グルーミング⑱	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
後 期（5時限）				
週	教程	教程内容		
1	グルーミング①	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
2	グルーミング②	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
3	グルーミング③	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
4	グルーミング④	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
5	グルーミング⑤	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
6	グルーミング⑥	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
7	グルーミング⑦	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
8	グルーミング⑧	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
9	グルーミング⑨	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
10	グルーミング⑩	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
11	グルーミング⑪	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
12	グルーミング⑫	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
13	グルーミング⑬	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
14	グルーミング⑭	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
15	グルーミング⑮	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
16	グルーミング⑯	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
17	グルーミング⑰	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		
18	グルーミング⑱	2人に1頭（さまざまな犬種のグルーミング）		

実習科目		動物行動実習	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		動物の管理方法、特に伴侶動物である犬のしつけの重要性と実践方法を学び、犬の飼育におけるしつけの重要性を知る。また家庭犬訓練士初級の合格を目標とする。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	パピーの管理方法①		パピーを迎えるにあたって①	
2	パピーの管理方法②		パピーを迎えるにあたって②	
3	パピーの管理方法③		環境管理方法①	
4	パピーの管理方法④		環境管理方法②	
5	パピーの管理方法⑤		健康管理方法①	
6	パピーの管理方法⑥		健康管理方法②	
7	パピーの管理方法⑦		家庭の中で求められるしつけ①	
8	パピーの管理方法⑧		家庭の中で求められるしつけ②	
9	パピーの管理方法⑨		社会で求められるしつけ①	
10	パピーの管理方法⑩		社会で求められるしつけ②	
11	パピーの管理方法⑪		犬の社会化で求められるしつけ①	
12	パピーの管理方法⑫		犬の社会化で求められるしつけ②	
13	パピーの管理方法⑬		社会化プログラム、基本トレーニング①	
14	パピーの管理方法⑭		社会化プログラム、基本トレーニング②	
15	パピーの管理方法⑮		パピーパーティーの模擬練習①	
16	パピーの管理方法⑯		パピーパーティーの模擬練習②	
17	パピーの管理方法⑰		パピー購入に向けたプレゼンテーション①	
18	パピーの管理方法⑱		パピー購入に向けたプレゼンテーション②	
後 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	訓練実習①		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
2	訓練実習②		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
3	訓練実習③		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
4	訓練実習④		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
5	訓練実習⑤		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
6	訓練実習⑥		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
7	訓練実習⑦		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
8	訓練実習⑧		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
9	訓練実習⑨		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
10	訓練実習⑩		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
11	訓練実習⑪		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
12	訓練実習⑫		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
13	訓練実習⑬		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
14	訓練実習⑭		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
15	訓練実習⑮		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
16	訓練実習⑯		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
17	訓練実習⑰		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	
18	訓練実習⑱		2人に1頭（家庭犬訓練士初級課目）	

実習科目	動物内科看護学実習	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得し、更に理解を深め、応用的な技術の習得を目標とする。		
評価方法	筆記試験・実技試験		
テキスト	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		
指 導 内 容			
前 期（3時限）			
週	教程	教程内容	
1	診療に関わる技術	注射器の取り扱い、薬剤計算	
2	ワクチン接種①	RV予防ワクチン接種①	
3	ワクチン接種②	RV予防ワクチン接種②	
4	診療に関わる技術①	投薬法、薬剤計算	
5	診療に関わる技術②	輸液ポンプ	
6	診療に関わる技術③	シリンジポンプ	
7	生体検査①	レントゲン検査①	
8	生体検査②	レントゲン検査②	
9	生体検査③	レントゲン検査③	
10	生体検査④	レントゲン検査④	
11	生体検査⑤	レントゲン検査⑤	
12	生体検査⑤	レントゲン検査⑥	
13	生体検査⑤	小テスト	
14	診療に関わる技術①	創傷管理、包帯法	
15	診療に関わる技術②	外注検査	
16	診療に関わる技術③	マイクロチップ	
17	まとめ	まとめ	
18	試験	試験（筆記試験、実技試験）	
後 期（3時限）			
週	教程	教程内容	
1	皮膚検査①	微生物学的検査	
2	皮膚検査②	皮膚の構造	
3	皮膚検査③	皮膚の簡易検査①	
4	皮膚検査④	皮膚の簡易検査②	
5	耳道検査①	耳道の構造・観察	
6	耳道検査②	耳の検査・耳道洗浄	
7	心電図	心電図の原理・心拍数	
8	心電図・血圧①	不整脈・血圧測定①	
9	心電図・血圧②	不整脈・血圧測定②	
10	輸血①	血液型について	
11	輸血②	クロスマッチ	
12	眼科検査①	眼の構造	
13	眼科検査②	眼科一般検査	
14	眼科検査③	眼科特殊検査	
15	神経学的検査	神経学的検査	
16	診療補助	採尿（尿道カテーテル）	
17	総復習	血液検査の復習	
18	試験	試験（筆記試験、実技試験）	

実習科目	動物愛護・適正飼養実習	2学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。		
評価方法	実技試験・筆記試験		
テキスト	プリント		
指 導 内 容			
前 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	動物の基本的な取り扱い①	動物種に応じた安全なハンドリングについて①	
2	動物の基本的な取り扱い②	動物種に応じた安全なハンドリングについて②	
3	動物の基本的な取り扱い③	動物の安全な散歩、運動について①	
4	動物の基本的な取り扱い④	動物の安全な散歩、運動について②	
5	動物の基本的な取り扱い⑤	犬の適切な道具の選択について①	
6	動物の基本的な取り扱い⑥	犬の適切な道具の選択について②	
7	動物の基本的な取り扱い⑦	犬の適切な道具の選択について③	
8	動物の基本的な取り扱い⑧	基本的なグルーミングについて①	
9	動物の基本的な取り扱い⑨	基本的なグルーミングについて②	
10	動物の基本的な取り扱い⑩	基本的なグルーミングについて③	
11	動物の基本的な取り扱い⑪	動物の飼養に関する適切な環境整備①	
12	動物の基本的な取り扱い⑫	動物の飼養に関する適切な環境整備②	
13	動物の基本的な取り扱い⑬	動物の飼養に関する適切な環境整備③	
14	飼い主とのコミュニケーション①	犬や猫の品種に応じた特徴①	
15	飼い主とのコミュニケーション②	犬や猫の品種に応じた特徴②	
16	飼い主とのコミュニケーション③	犬や猫の品種に応じた特徴③	
17	飼い主とのコミュニケーション④	動物の適切な飼養方法についての指導①	
18	飼い主とのコミュニケーション⑤	動物の適切な飼養方法についての指導②	
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	飼い主とのコミュニケーション⑥	法令に基いた順守すべき対応についての指導①	
2	飼い主とのコミュニケーション⑦	法令に基いた順守すべき対応についての指導②	
3	飼い主とのコミュニケーション⑧	法令に基いた順守すべき対応についての指導③	
4	飼い主とのコミュニケーション⑨	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援についての説明①	
5	飼い主とのコミュニケーション⑩	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援についての説明②	
6	飼い主とのコミュニケーション⑪	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援についての説明③	
7	飼い主とのコミュニケーション⑫	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援についての説明④	
8	飼い主とのコミュニケーション⑬	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援についての説明⑤	
9	飼い主とのコミュニケーション⑭	避難所等災害時の飼い主への支援についての説明①	
10	飼い主とのコミュニケーション⑮	避難所等災害時の飼い主への支援についての説明②	
11	飼い主とのコミュニケーション⑯	避難所等災害時の飼い主への支援についての説明③	
12	飼い主とのコミュニケーション⑰	避難所等災害時の飼い主への支援についての説明④	
13	動物愛護管理行政①	動物愛護管理センターの活動について①	
14	動物愛護管理行政②	動物愛護管理センターの活動について②	
15	動物愛護管理行政③	動物取扱業へ指導すべき内容について①	
16	動物愛護管理行政④	動物取扱業へ指導すべき内容について②	
17	動物愛護管理行政⑤	動物取扱業における顧客等への対応についての実践①	
18	動物愛護管理行政⑥	動物取扱業における顧客等への対応についての実践②	

一般科目	パソコン演習	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	パソコンの基本操作を通じ、情報の整理・加工・発信の技術を身に付ける。また実社会で通用するパソコン技術の取得を目指す。		
評価方法	実技課題		
テキスト	30時間でマスターOFFICE 2019		
指 導 内 容			
前 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	Excel①	復習	
2	Excel②	Excel演習（IF）①	
3	Excel③	Excel演習（IF）②	
4	Excel④	Excel演習（VLOOKUP）①	
5	Excel⑤	Excel演習（VLOOKUP）②	
6	Excel⑥	Excel演習（COUNTIF）①	
7	Excel⑦	Excel演習（COUNTIF）②	
8	Excel⑧	Excel演習（SUM）①	
9	Excel⑨	Excel演習（SUM）②	
10	Excel⑩	Excel演習（RANK）①	
11	Excel⑪	Excel演習（RANK）②	
12	Excel⑫	Excel演習（MAX、MIN、AVERAGE）①	
13	Excel⑬	Excel演習（MAX、MIN、AVERAGE）②	
14	Excel⑭	Excel演習（COUNT）①	
15	Excel⑮	Excel演習（COUNT）②	
16	Excelまとめ①	総合演習①	
17	Excelまとめ②	総合演習②	
18	Excelまとめ③	総合演習③	
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	Word①	復習	
2	Word②	Word演習（タブ設定）	
3	Word③	Word演習（段落、段組み）	
4	Word④	Word演習（デザイン設定）	
5	Word⑤	Word演習（レポート作成）①	
6	Word⑥	Word演習（レポート作成）②	
7	Word⑦	Word演習（挿入）①	
8	Word⑧	Word演習（挿入）②	
9	Word⑨	Word演習（図形）①	
10	Word⑩	Word演習（図形）②	
11	Word⑪	Word演習（差し込み）①	
12	Word⑫	Word演習（差し込み）②	
13	Word⑬	Word演習（差し込み）③	
14	Wordまとめ①	総合演習①	
15	Wordまとめ②	総合演習②	
16	Wordまとめ③	総合演習③	

一般科目		販売小売学	3学年	前後期
目的及 留意点		小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を習得し、就職した際の実務に活かせるようにする。また、リテールマーケティング検定3級の合格を目指す。		
評価方法		3級リテールマーケティング		
テキスト		プリント		
指導内容				
前期（1時間）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		本科目の学習の意義、学習内容の全体像、検定試験の概要	
2	小売業の類型①		第1章：流通における小売業の基本、章別問題	
3	小売業の類型②		第2章：組織形態別小売業の基本、章別問題	
4	小売業の類型③		第3章：店舗形態別小売業の基本的役割、章別問題	
5	小売業の類型④		第4章：商業集積の基本、章別問題	
6	マーチャンダイジング①		第1・2章：商品の基本～マーチャンダイジングの基本	
7	マーチャンダイジング②		第3・4章：商品計画の基本～販売・仕入計画の基本	
8	マーチャンダイジング③		第5・6章：価格設定の基本～在庫管理の基本、章別問題	
9	マーチャンダイジング④		第7章：販売管理の基本、章別問題	
10	ストアオペレーション①		第1章：ストアオペレーションの基本、章別問題	
11	ストアオペレーション②		第2章：包装技術の基本、章別問題	
12	ストアオペレーション③		第3章：ディスプレイの基本、章別問題	
13	ストアオペレーション④		第4章：作業割当の基本、章別問題	
14	マーケティング①		第1・2章：小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本	
15	マーケティング②		第3章：商圈の設定と出店の基本、章別問題	
16	マーケティング③		第4章：リージョナルプロモーションの基本、章別問題	
17	マーケティング④		第5章：顧客志向型売場づくりの基本、章別問題	
18	まとめ		試験対策	
後期（1時間）				
週	教程		教程内容	
1	販売・経営管理①		第1章：販売員の役割の基本、章別問題	
2	販売・経営管理②		第2章：販売員の法令知識、章別問題	
3	販売・経営管理③		第3章：計数管理の基本、章別問題	
4	販売・経営管理④		第4章：店舗管理の基本、章別問題	
5	予備試験対策		予備試験対策問題	
6	過去問題 演習①		過去問題①	
7	過去問題 演習②		過去問題②	
8	過去問題 演習③		過去問題③	
9	過去問題 演習④		過去問題④	
10	過去問題 演習⑤		過去問題⑤	
11	過去問題 演習⑥		過去問題⑥	
12	過去問題 演習⑦		過去問題⑦	
13	過去問題 演習⑧		過去問題⑧	
14	過去問題 演習⑨		検定試験直前模擬問題①	
15	模擬問題演習①		検定試験直前模擬問題②	
16	まとめ		検定試験直前模擬問題③	

専門科目		比較動物学	3学年	前後期
目的及 留意点		飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		プリント		
指導内容				
前期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	実験動物学総論①		動物実験の目的と配慮、実験動物とは	
2	実験動物学総論②		実験動物の歴史	
3	実験動物学総論③		実験動物関連法規の誕生と発展、	
4	実験動物学総論④		動物看護師と動物実験	
5	実験動物の管理学①		生態因子の管理学、遺伝子モニタリングの管理学	
6	実験動物の管理学②		住居環境因子の管理学	
7	実験動物の管理学③		物理化学的因子の管理学、栄養学的管理学	
8	実験動物の管理学④		微生物学的管理学	
9	実験動物の管理学⑤		動物実験の基本技術	
10	実験動物の管理学⑥		動物飼育管理上の注意点	
11	代表的実験動物の特性と飼育管理①		マウス	
12	代表的実験動物の特性と飼育管理②		ラット	
13	代表的実験動物の特性と飼育管理③		シリアンハムスター	
14	代表的実験動物の特性と飼育管理④		チャイニーズハムスター	
15	代表的実験動物の特性と飼育管理⑤		スナネズミ	
16	代表的実験動物の特性と飼育管理⑥		モルモット	
17	代表的実験動物の特性と飼育管理⑦		ウサギ	
18	代表的実験動物の特性と飼育管理⑧		サル類	
後期（1時限）				
週	教程		教程内容	
1	疾患モデル動物①		自然発症疾患モデル動物	
2	疾患モデル動物②		トランスジェニック動物	
3	疾患モデル動物③		代表的な実験的疾患モデル動物、研究資源バンク	
4	動物実験の代替法①		代替え法とその活用	
5	動物実験の代替法②		代替え法開発の背景と現在の課題	
6	野生動物①		野生動物の分類と生物多様性	
7	野生動物②		絶滅危惧種の定義、動物、原因、保全方法やその意義	
8	野生動物③		外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響	
9	野生動物④		外来生物への対策	
10	野生動物⑤		野生動物の救護	
11	野生動物⑥		野生動物救護の対象と内訳	
12	野生動物⑦		野生動物の病気と事故、野生動物の救護体制	
13	展示動物⑧		展示動物の意義と動物園などの役割	
14	展示動物⑨		動物園における個体・群管理、行動管理	
15	展示動物⑩		動物園などの施設管理・環境エンリッチメント①	
16	展示動物⑪		動物園などの施設管理・環境エンリッチメント②	

専門科目	動物臨床看護学各論	3学年	前後期
目的及 留意点	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。		
評価方法	筆記試験		
テキスト	カラーアトラス最新くわしい犬の病気大図典		
指導内容			
前期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	泌尿器疾患①	急性腎障害、慢性腎臓病	
2	泌尿器疾患②	腎盂腎炎、タンパク喪失性腎症	
3	泌尿器疾患③	尿路感染症、尿石症、膀胱炎、	
4	泌尿器疾患④	猫下部尿路疾患、尿道閉塞症、レプトスピラ症	
5	泌尿器疾患⑤	まとめ	
6	循環器疾患①	僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症	
7	循環器疾患②	心膜腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損、心室中隔欠損	
8	循環器疾患③	卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症	
9	循環器疾患④	まとめ	
10	呼吸器疾患①	猫上部気道感染症、鼻炎、軟口蓋過長①	
11	呼吸器疾患②	猫上部気道感染症、鼻炎、軟口蓋過長②	
12	呼吸器疾患③	気管虚脱、短頭種気道症候群、気管支拡張症、気管支炎	
13	呼吸器疾患④	肺炎、肺水腫、膿胸	
14	呼吸器疾患⑤	猫喘息、ジステンパー、ケンネルコフ	
15	まとめ	呼吸器疾患まとめ	
16	内分泌疾患①	甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症	
17	内分泌疾患②	糖尿病、尿崩症	
18	内分泌疾患③	副腎皮質機能低下症、副腎皮質機能亢進症	
後期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	神経疾患①	脳炎、水頭症、てんかん、ウォブラー症候群	
2	神経疾患②	椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、馬尾症候群	
3	造血器・免疫介在性疾患①	免疫介在性溶血性貧血、ネギ中毒、ヘモプラズマ症、バベシア症	
4	造血器・免疫介在性疾患②	腎性貧血、血友病、猫伝染性腹膜炎、猫白血病ウイルス感染症	
5	造血器・免疫介在性疾患③	猫免疫不全ウイルス感染症、リンパ腫、白血病、肥満細胞腫	
6	生殖器疾患①	潜在精巣、前立腺炎、前立腺肥大	
7	生殖器疾患②	子宮蓄膿症、偽妊娠、難産、膣脱、犬ブルセラ症	
8	生殖器疾患③	乳房炎、乳腺腫瘍	
9	緊急疾患①	交通事故、感電、熱傷	
10	緊急疾患②	熱中症、中毒、誤飲	
11	緊急疾患③	ショック、アナフィラキシー①	
12	緊急疾患④	ショック、アナフィラキシー②	
13	担癌動物の看護①	癌の診断のための検査、治療	
14	担癌動物の看護②	腫瘍随伴症候群	
15	担癌動物の看護③	担癌動物の看護援助	
16	担癌動物の看護④	まとめ	

専門科目		愛玩動物学	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について理解する。また動物の基本的な取り扱い方法やグルーミングについても学ぶ。		
評価方法		筆記試験		
テキスト		カラーアトラスエキゾチックアニマル 哺乳類編 第3版		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	血統と血統書①		血統書の意義①	
2	血統と血統書②		血統書の意義②	
3	血統と血統書③		血統書の読み取り方	
4	血統と血統書④		血統管理と品種改良①	
5	血統と血統書⑤		血統管理と品種改良②	
6	使役動物①		使役動物の歴史と福祉①	
7	使役動物②		使役動物の歴史と福祉②	
8	使役動物③		使役動物の歴史と福祉③	
9	使役動物④		身体障害者補助犬①	
10	使役動物⑤		身体障害者補助犬②	
11	使役動物⑥		身体障害者補助犬/盲導犬①	
12	使役動物⑦		身体障害者補助犬/盲導犬②	
13	使役動物⑧		身体障害者補助犬/介助犬①	
14	使役動物⑨		身体障害者補助犬/介助犬②	
15	使役動物⑩		身体障害者補助犬/聴導犬①	
16	使役動物⑪		身体障害者補助犬/聴導犬②	
17	使役動物⑫		その他の使役犬①	
18	使役動物⑬		その他の使役犬②	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	動物の基本的な取り扱い		概要	
2	動物を安全に散歩・運動させ、ふれあわせる①		意義	
3	動物を安全に散歩・運動させ、ふれあわせる②		散歩	
4	動物を安全に散歩・運動させ、ふれあわせる③		運動	
5	動物を安全に散歩・運動させ、ふれあわせる④		ふれあい	
6	基本的グルーミング①		シャンプー、ブラッシング	
7	基本的グルーミング②		耳掃除	
8	基本的グルーミング③		爪切り	
9	基本的グルーミング④		肛門腺処置	
10	基本的グルーミング⑤		口腔内衛生管理	
11	定期的な予防管理①		ワクチンで予防できる感染症/犬	
12	定期的な予防管理②		ワクチンで予防できる感染症/猫	
13	定期的な予防管理③		外部寄生虫・内部寄生虫	
14	適切な飼養環境やストレスの緩和の方法①		飼養環境整備	
15	適切な飼養環境やストレスの緩和の方法②		ストレスの緩和の方法	
16	まとめ		まとめ	

専門科目	コミュニケーショントレーニング	3学年	前後期
目的及留意点	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主対応やスタッフ間での接し方を学ぶ。動物共生環境コーディネーターの資格取得に向け、プレゼンテーションスキルの向上を目的とする。		
評価方法	発表・筆記試験		
テキスト	プリント		
指導内容			
前期（2時限）			
週	教程	教程内容	
1	不快感情の飼い主さんへの対応①	相手の話を落ち着いて聞く	
2	不快感情の飼い主さんへの対応②	相手の話の内容を読み解く	
3	手紙の作成	DMについて	
4	緊急時の対応①	緊急の電話を受けた場合の対応	
5	緊急時の対応②	緊急の患者が来院された時の対応	
6	深刻な場合での対応：訃報時	飼い主の感情をくむ	
7	深刻な場合での対応：診察時、面会時	診察中・面会中の飼い主への配慮	
8	ペットロスとその対応	グリーフケア	
9	飼い主のお迎え（応用）①	復習	
10	飼い主のお迎え（応用）②	様々な飼い主の状況への対応方法	
11	薬の説明（応用）①	復習	
12	薬の説明（応用）②	様々な飼い主の状況への対応方法	
13	待合室管理①	カウンターワークの考え方①	
14	待合室管理②	カウンターワークの考え方②	
15	実技試験	グループワーク	
16	電話対応（応用）①	電話対応復習①	
17	電話対応（応用）②	電話対応復習②	
18	前期まとめ	前期まとめ	
後期（2時間）			
週	教程	教程内容	
1	効果的プレゼンテーション①	グループでプレゼンテーションを考える	
2	効果的プレゼンテーション②	グループ活動におけるプレゼンテーション①	
3	効果的プレゼンテーション③	グループ活動におけるプレゼンテーション②	
4	効果的プレゼンテーション④	グループ活動におけるプレゼンテーション③	
5	効果的プレゼンテーション⑤	グループ活動におけるプレゼンテーション④	
6	効果的プレゼンテーション⑥	グループ活動におけるプレゼンテーション⑤	
7	効果的プレゼンテーション⑦	個人活動におけるプレゼンテーション①	
8	効果的プレゼンテーション⑧	個人活動におけるプレゼンテーション②	
9	効果的プレゼンテーション⑨	個人活動におけるプレゼンテーション③	
10	効果的プレゼンテーション⑩	個人活動におけるプレゼンテーション④	
11	動物共生環境コーディネーターとしての心構え①	コーディネーターとは	
12	動物共生環境コーディネーターとしての心構え②	動物関連業務におけるコーディネーターとしての心構え①	
13	動物共生環境コーディネーターとしての心構え③	動物関連業務におけるコーディネーターとしての心構え②	
14	動物共生環境コーディネーターとしての心構え④	動物関連業務におけるコーディネーターとしての心構え③	
15	動物共生環境コーディネーターとしての心構え⑤	動物関連業務におけるコーディネーターとしての心構え④	
16	後期まとめ	後期まとめ	

専門科目		アニマルアロマ概論	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		ペットに対してのアロマセラピーの基礎および、精油の効用を学び、それらを実践できるように実技も修得する。		
評価方法		実技試験		
テキスト		ホリスティックアニマルアロマセラピーⅠ		
指 導 内 容				
前 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ホリスティックセラピー①		ホリスティックセラピーとは①	
2	ホリスティックセラピー②		ホリスティックセラピーとは②	
3	ホリスティックセラピー③		ホリスティックセラピーとは③	
4	ホリスティックセラピー④		ホリスティックセラピーとは④	
5	精油の取り扱い方法①		精油の取り扱い方法①	
6	精油の取り扱い方法②		精油の取り扱い方法②	
7	精油の取り扱い方法③		精油の取り扱い方法③	
8	精油の取り扱い方法④		精油の取り扱い方法④	
9	禁忌表の見方①		犬の精油の禁忌について①	
10	禁忌表の見方②		犬の精油の禁忌について②	
11	禁忌表の見方③		猫への精油の使用禁止①	
12	禁忌表の見方④		猫への精油の使用禁止②	
13	嗅覚での吸収①		嗅覚での吸収について①	
14	嗅覚での吸収②		嗅覚での吸収について②	
15	精油の濃度計算方法・希釈①		精油の濃度計算方法・希釈方法①	
16	精油の濃度計算方法・希釈②		精油の濃度計算方法・希釈方法②	
17	精油の種類		精油の種類の紹介	
18	まとめ		まとめ	
後 期（1時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	動物へのアロマセラピー①		動物へのアロマセラピーについて①	
2	動物へのアロマセラピー②		動物へのアロマセラピーについて②	
3	適切な飼養環境やストレスの緩和方法①		ストレスの緩和方法①	
4	適切な飼養環境やストレスの緩和方法②		ストレスの緩和方法②	
5	担当犬へのマッサージ①		担当犬へのマッサージ①	
6	担当犬へのマッサージ②		担当犬へのマッサージ②	
7	担当犬へのマッサージ③		担当犬へのマッサージ③	
8	担当犬へのマッサージ④		担当犬へのマッサージ④	
9	担当犬へのマッサージ⑤		担当犬へのマッサージ⑤	
10	担当犬へのマッサージ⑥		担当犬へのマッサージ⑥	
11	担当犬へのマッサージ⑦		担当犬へのマッサージ⑦	
12	担当犬へのマッサージ⑧		担当犬へのマッサージ⑧	
13	担当犬へのマッサージ⑨		担当犬へのマッサージ⑨	
14	担当犬へのマッサージ⑩		担当犬へのマッサージ⑩	
15	担当犬へのマッサージ⑪		担当犬へのマッサージ⑪	
16	試験対策		試験対策	

実習科目		動物美容実習	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		器具の使用方法やグルーミングを演習で学び、実習を通じて基本的なトリミングの習得までを目標とする。またサロントリマー検定2級の取得を目指す。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（5時限）				
週	教程		教程内容	
1	グルーミング①		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
2	グルーミング②		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
3	グルーミング③		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
4	グルーミング④		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
5	グルーミング⑤		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
6	グルーミング⑥		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
7	グルーミング⑦		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
8	グルーミング⑧		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
9	グルーミング⑨		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
10	グルーミング⑩		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
11	グルーミング⑪		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
12	グルーミング⑫		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
13	グルーミング⑬		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
14	グルーミング⑭		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
15	グルーミング⑮		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
16	グルーミング⑯		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
17	グルーミング⑰		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
18	グルーミング⑱		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
後 期（5時限）				
週	教程		教程内容	
1	グルーミング①		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
2	グルーミング②		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
3	グルーミング③		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
4	グルーミング④		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
5	グルーミング⑤		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
6	グルーミング⑥		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
7	グルーミング⑦		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
8	グルーミング⑧		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
9	グルーミング⑨		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
10	グルーミング⑩		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
11	グルーミング⑪		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
12	グルーミング⑫		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
13	グルーミング⑬		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
14	グルーミング⑭		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
15	グルーミング⑮		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	
16	グルーミング⑯		2～1人に1頭（主にカット犬種のトリミング）	

実習科目		動物行動実習	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点		動物の管理方法、特に伴侶動物である犬のしつけの重要性と実践方法を学び、犬の飼育におけるしつけの重要性を知る。また家庭犬訓練士中級の合格を目標とする。		
評価方法		実技試験		
テキスト		プリント		
指 導 内 容				
前 期（4時限）				
週	教程		教程内容	
1	パピー飼育・管理方法①		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法①	
2	パピー飼育・管理方法②		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法②	
3	パピー飼育・管理方法③		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法③	
4	パピー飼育・管理方法④		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法④	
5	パピー飼育・管理方法⑤		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑤	
6	パピー飼育・管理方法⑥		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑥	
7	パピー飼育・管理方法⑦		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑦	
8	パピー飼育・管理方法⑧		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑧	
9	パピー飼育・管理方法⑨		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑨	
10	パピー飼育・管理方法⑩		問題行動の改善を目的としたクラス運営方法⑩	
11	パピー飼育・管理方法⑪		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
12	パピー飼育・管理方法⑫		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
13	パピー飼育・管理方法⑬		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
14	パピー飼育・管理方法⑭		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
15	パピー飼育・管理方法⑮		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
16	パピー飼育・管理方法⑯		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
17	パピー飼育・管理方法⑰		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
18	パピー飼育・管理方法⑱		パピーを対象としたしつけ方教室の運営方法①	
後 期（4時限）				
週	教程		教程内容	
1	訓練実習①		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
2	訓練実習②		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
3	訓練実習③		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
4	訓練実習④		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
5	訓練実習⑤		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
6	訓練実習⑥		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
7	訓練実習⑦		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
8	訓練実習⑧		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
9	訓練実習⑨		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
10	訓練実習⑩		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
11	訓練実習⑪		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
12	訓練実習⑫		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
13	訓練実習⑬		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
14	訓練実習⑭		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
15	訓練実習⑮		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	
16	訓練実習⑯		2～1人に1頭（家庭犬訓練士中級課目）	

実習科目	動物愛護・適正飼養実習	3学年	前後期
目的及 留意点	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。また実習を通して実践的なハンドリング技術を身につける。		
評価方法	実技試験		
テキスト	プリント		
指 導 内 容			
前 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	動物の基本的な取り扱い①	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて①	
2	動物の基本的な取り扱い②	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて②	
3	動物の基本的な取り扱い③	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて③	
4	動物の基本的な取り扱い④	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて④	
5	動物の基本的な取り扱い⑤	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑤	
6	動物の基本的な取り扱い⑥	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑥	
7	動物の基本的な取り扱い⑦	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑦	
8	動物の基本的な取り扱い⑧	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑧	
9	動物の基本的な取り扱い⑨	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑨	
10	動物の基本的な取り扱い⑩	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑩	
11	動物の基本的な取り扱い⑪	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑪	
12	動物の基本的な取り扱い⑫	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑫	
13	動物の基本的な取り扱い⑬	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑬	
14	動物の基本的な取り扱い⑭	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑭	
15	動物の基本的な取り扱い⑮	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑮	
16	動物の基本的な取り扱い⑯	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑯	
17	動物の基本的な取り扱い⑰	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑰	
18	動物の基本的な取り扱い⑱	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑱	
後 期（1時限）			
週	教程	教程内容	
1	動物の基本的な取り扱い①	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて①	
2	動物の基本的な取り扱い②	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて②	
3	動物の基本的な取り扱い③	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて③	
4	動物の基本的な取り扱い④	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて④	
5	動物の基本的な取り扱い⑤	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑤	
6	動物の基本的な取り扱い⑥	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑥	
7	動物の基本的な取り扱い⑦	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑦	
8	動物の基本的な取り扱い⑧	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑧	
9	動物の基本的な取り扱い⑨	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑨	
10	動物の基本的な取り扱い⑩	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑩	
11	動物の基本的な取り扱い⑪	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑪	
12	動物の基本的な取り扱い⑫	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑫	
13	動物の基本的な取り扱い⑬	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑬	
14	動物の基本的な取り扱い⑭	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑭	
15	動物の基本的な取り扱い⑮	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑮	
16	動物の基本的な取り扱い⑯	犬の適切な扱い方及びハンドリングについて⑯	

実習科目	建築・住環境実習	3学年	前後期
目 的 及 び 留 意 点	動物の行動学に基づき、人と動物が快適に生活するための知識を習得する。また、福祉と動物と住環境を考え、福祉住環境コーディネーター 3 級の合格を目指す。		
評価方法	課題提出		
テキスト	ペットと暮らす住まいのデザイン、福祉住環境コーディネーター 3 級公式テキスト 改訂6版		
指 導 内 容			
前 期（3時限）			
週	教 程	教 程 内 容	
1	建築の基礎知識①	建築概論、今後の授業展開について	
2	建築の基礎知識②	製図通則（図面を描くにあたり）	
3	建築の基礎知識③	S=1/100図面のトレース①	
4	建築の基礎知識④	S=1/100図面のトレース②	
5	住宅概論①	エスキス手法	
6	住宅概論②	エスキス演習	
7	住宅概論③	各種構造（木造・S造・RC造）の特徴	
8	住宅概論④	建築基準法による各種制限・演習	
9	ユニバーサルデザイン①	ユニバーサルデザイン概論①（概念・実践例）	
10	ユニバーサルデザイン②	ユニバーサルデザイン概論②（高齢者居住住宅設計指針・演習）	
11	フィールドワーク①	現状調査①	
12	フィールドワーク②	現状調査②	
13	フィールドワーク③	現状調査③	
14	フィールドワーク④	発表・質疑応答・総評①	
15	フィールドワーク⑤	発表・質疑応答・総評②	
16	フィールドワーク⑥	発表・質疑応答・総評③	
17	フィールドワーク⑦	発表・質疑応答・総評④	
18	まとめ	まとめ	
後 期（3時限）			
週	教 程	教 程 内 容	
1	福祉住環境コーディネーター対策①	第一章 暮らしやすい生活環境をめざして	
2	福祉住環境コーディネーター対策②	第二章 健康と自立をめざして	
3	福祉住環境コーディネーター対策③	第三章 バリアフリーとユニバーサルデザイン	
4	福祉住環境コーディネーター対策④	第四章 安全・安心・快適な住まい	
5	福祉住環境コーディネーター対策⑤	総まとめ（過去問対策）	
6	福祉住環境コーディネーター対策⑥	総まとめ（過去問対策）	
7	CADの知識①	演習①	
8	CADの知識②	演習②	
9	CADの知識③	演習③	
10	プロダクトデザイン①	発表・総評①	
11	プロダクトデザイン②	発表・総評②	
12	プロダクトデザイン③	発表・総評③	
13	フィールドワーク⑧	発表・質疑応答・総評⑤	
14	フィールドワーク⑨	発表・質疑応答・総評⑥	
15	フィールドワーク⑩	発表・質疑応答・総評⑦	
16	まとめ	まとめ	

実習科目	ホームヘルパー理論・動物介在実習	3学年	前後期
目的及 留意点	高齢者や障害を持つ人の在宅介護および動物介在活動に必要な専門知識と技術を身につけ、福祉に関する総合的能力を理解し、動物業界における福祉の必要性を学ぶ。また介護職員初任者研修の取得を目指す。		
評価方法	筆記試験・実技試験		
テキスト	介護職員初任者研修課程テキスト 第5版		
指導内容			
前期（8時限）			
週	教程	教程内容	
1	介護職員初任者研修課程①	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2	介護職員初任者研修課程②	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	
3	介護職員初任者研修課程③	介護職の役割、専門性と多職種との連携	
4	介護職員初任者研修課程④	介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント	
5	介護職員初任者研修課程⑤	介護職の安全、介護保険制度	
6	介護職員初任者研修課程⑥	障害福祉制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション	
7	介護職員初任者研修課程⑦	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	
8	介護職員初任者研修課程⑧	高齢者と健康、老化に伴うこころとからだの変化と日常	
9	介護職員初任者研修課程⑨	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
10	介護職員初任者研修課程⑩	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援	
11	介護職員初任者研修課程⑪	障害の基礎的理解、医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	
12	介護職員初任者研修課程⑫	家族の心理、かかわり支援の理解	
13	介護職員初任者研修課程⑬	介護の基本的な考え方	
14	介護職員初任者研修課程⑭	介護に関するこころとからだの仕組みの基礎的理解	
15	介護職員初任者研修課程⑮	生活と家事、快適な居住環境整備と介護	
16	介護職員初任者研修課程⑯	整容、移動移乗、食事等に関連したこころとからだの仕組みと自立に向けた介護	
17	介護職員初任者研修課程⑰	死にゆく人に関したこころとからだの仕組みと終末期介護	
18	介護職員初任者研修課程⑱	介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	
後期（8時限）			
週	教程	教程内容	
1	動物介在実習①	動物介在実習の基本	
2	動物介在実習②	ヒューマンアニマルボンド	
3	動物介在実習③	AAA、AAT、AAE	
4	動物介在実習④	動物介在活動用アイテムの作製①	
5	動物介在実習⑤	動物介在活動用アイテムの作製②	
6	動物介在実習⑥	動物介在活動①	
7	動物介在実習⑦	動物介在活動②	
8	動物介在実習⑧	動物介在活動③	
9	動物介在実習⑨	動物介在活動④	
10	動物介在実習⑩	動物介在活動⑤	
11	動物介在実習⑪	動物介在活動⑥	
12	動物介在実習⑫	動物介在活動⑦	
13	動物介在実習⑬	動物介在活動⑧	
14	動物介在実習⑭	動物介在活動⑨	
15	動物介在実習⑮	動物介在活動⑩	
16	まとめ	まとめ	